

免疫機能障害者への支援と理解促進事業

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

平成 25 年度 事業報告書

一般社団法人ブリッジハートセンター東海

Bridging Heart Center Tokai

目次

あいさつ	3
I 事業概要	4
1. 事業の背景	
2. 事業の目的	
3. 事業内容・実施体制	
II 啓発及び支援検討委員会の開催	6
1. 委員	
2. 事務局	
3. 開催日時	
III 啓発活動への協力事業の実施	8
1. 参加イベント	
2. アンケート実施	
IV 感染者への支援体制の構築事業の実施	14
1. 支援体制	
2. 相談件数の内訳	
3. 相談内容について	
V 啓発活動及び感染者支援情報整理及び発信事業の実施	28
1. ホームページ作成・公開	
2. アプリ開発	
3. 情報発信内容	
VI 啓発及び支援活動報告会の参加	33
1. 第28回日本エイズ学会学術集会・総会 in 熊本	
2. 第21回 静岡エイズシンポジウム	
VII 静岡県と浜松市の予防と啓発	38
VIII 参考資料	39
報告書作成に関わったメンバー	45

あいさつ

一般社団法人ブリッジハートセンター東海
代表理事 山城ロベルト

現在日本国内における HIV 陽性者は二万人を超えています。そして新規感染者は1日に4人ずつ増えている計算になっています。先進国の中でこの勢いで新規感染者数が増えている国は稀であると同時にこれだけ新規感染者数が増えているにも関わらず HIV に対する理解の低さが顕著に見られるのもまた稀であると言わざるをえません。日本は医療面や行政支援など HIV 陽性者に対する支援はかなり手厚く対応されています。ですがそれはその支援に関わる人たちには理解がされていても、少し外れるとすぐに理解をされない、されにくいという現状があります。そのような中で当法人はどのように情報を届けるべきなのか？また、困っている人たちをどのようにして支援団体や支援を行っている場所につなげていくのかを考えてきました。

平成 25 年度事業開始直後に当法人には免疫機能障害者が事業に参加をしてくださいました。この方は名前の公表はしたくないが、困っている人たちの話を聞いてみたい、自分と同じ境遇の人たちに寄り添って一緒に頑張っていける社会を目指したいと言っています。そして助成を受けることができ、静岡県内で唯一 HIV の啓発活動を行っている、特定非営利活動法人魅惑的倶楽部と協働で啓発と相談支援と情報発信の柱建てで事業を行う事が出来ました。この事業には他に特定非営利活動法人ぶれいす東京、特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス、東海地区 HIV 陽性者支援団体 LIFE 東海、浜松医科大学の教授、浜松医療センター感染症内科の医師が検討委員として関わっていただき専門家から色んな意見をいただきすすめてまいりました。

HIV の情報は行政の情報であっても更新されていないものも多数あり、やはり地域における意識改革というのはとても重要だと感じました。また、活動地域内には南米系の外国人市民も多数在住しており、当団体は多言語で相談対応、情報発信、医療通訳を行っておりますが、HIV の情報について行政は多言語化されていないのが現状です。次年度以降の問題点として今回上がったことが無駄にならないようにしていきたいと考えております。

最後に、今年度の事業においてご協力をいただきました皆様に深く感謝の意を表したいと思っております。誠にありがとうございました。

I 事業概要

「HIV 感染者（免疫機能障害者）に対する差別や偏見をなくすことと感染拡大の防止、感染者への支援体制の確立」することを目的に、「現在すでに支援を行っている団体と連携を図り啓発活動を行うことと、当事者のため匿名で活動をおこなっている団体を発掘し HIV 陽性者や AIDS 発症者の社会進出への支援体制の構築」を実施する事業。

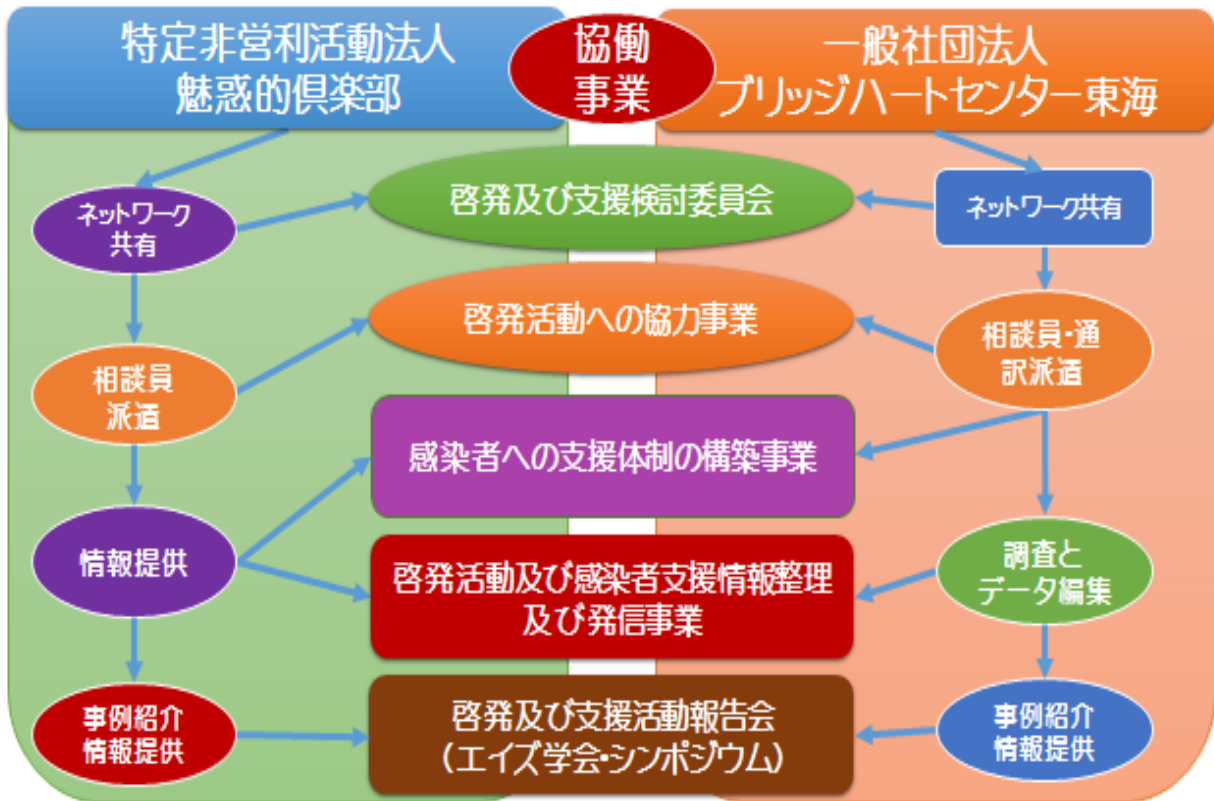
1. 事業の背景

現在、中高年齢の男性の感染数が著しく増加傾向（全 HIV 感染者 14,705 名 AIDS 患者 6,717 名・免疫機能障害認定者数、平成 24 年 12 月 30 日現在、エイズ予防法第 5 条に基づき血液凝固因子製剤による感染者を除く）にあるがこの年代の男性は一般向けの講習会や研修会が開催されていても無関心であったため正しい知識が身につけていない場合が多いです。また感染が発覚しても周りの目を気にしてあまり誰にも相談できなかつたり行政に対してもどのような支援があるのかを聞くことが出来ないという現状です。その中で本来なら受けられるはずの支援が期間内に申請できなかったために受けられなくなるという現状が実際に起こっています。この現状は一部だけではなく特に HIV 感染者や AIDS 発症者はかなりの人数が手続き困難であり、情報が無いということから申請をしていないケースです。特に AIDS 発症者はなかなか病院から出ることが困難となる中で実際に支援を行っている団体は大都市に集中しており地方に移れば移るほどなくなっていますが（静岡県内において啓発活動団体は一団体のみで当事者による支援団体は無い）地域によって支援体制は変わるからこそ地域に根差した支援団体が必要です。

2. 事業の目的

HIV 感染者や AIDS 発症者は実際に差別を受けています。ですがアメリカでは HIV 感染者や AIDS 発症者に対する差別がほとんどなく、会社の中で感染していることを話しても理解をしてもらえています。そしてそれは数字としてもあらわれており社会が受け入れている国では新規感染者数は実際に減っていますが、社会が受け入れていなかったり差別が根強い地域では逆に新規感染者は増加の一途をたどっています。このように現実の数字として表れている以上、HIV や AIDS を理解し感染しないようにするためには何が有効なのかをしっかりと理解することが必要です。また、HIV 感染者や AIDS 発症者に対しても一人じゃないんだという気持ちをもってもらい、社会に踏み出すための支援が必要です。そのためにはその地域だけではなく広域的なつながりも必要になってきます。また日本国内に在住している外国人市民の中にも実際に感染者はいるが言葉がわからないということで支援が受けられていない現状もあるからこそ情報を多言語で発信していく必要があります。今回の事業においてはただ支援だけを行うのではなく、地域で草の根的に活動している団体の発掘も行い、お互い連携をして多角的な支援体制の構築をしていく事も目的としています。

3. 事業内容・実施体制



特定非営利活動法人魅惑的倶楽部との協働事業のイメージ図

本事業を行うにあたり、特定非営利活動法人魅惑的倶楽部と連携を図り、事業を実施しました。啓発活動・行政へのアプローチを特定非営利活動法人魅惑的倶楽部が、相談員派遣・通訳員派遣を当法人が実施を行いました。主な活動内容は、啓発活動(魅惑的倶楽部主体・当法人協力)、相談支援(当法人主体・特定非営利活動法人魅惑的倶楽部協力)、情報発信(ホームページ・アプリ作成)、報告書作成、事業報告会の参加の実施を行いました。

II 啓発及び支援検討委員会

現在啓発支援を行っている団体や拠点病院の医師等を招き、当法人が行う活動の内容を検討し、積極的な連携活動に結びつくように協議しました。また支援団体の中には当事者団体も加わってもらうことで当事者目線からの意見も頂けるようにしました。

1. 委員会の構成

- ・生島嗣（特定非営利活動法人ふれいす東京 代表）
- ・佐藤郁夫（特定非営利活動法人ふれいす東京 相談支援員、生島嗣代理）
- ・高久陽介（特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス 事務局長）
- ・真野新也（LIFE 東海 代表）
- ・久保田君枝（国立大学法人浜松医科大学助産学専攻科 教授）
- ・島谷倫次（浜松医療センター感染症内科 副医長）
- ・鈴木恵子（特定非営利活動法人魅惑的倶楽部 理事長）
- ・大場菜生子（特定非営利活動法人魅惑的倶楽部 会員、鈴木恵子代理）
- ・山城口ベルト（一般社団法人ブリッジハートセンター東海 代表理事）

2. 事務局

- ・野口功（一般社団法人ブリッジハートセンター東海 医療福祉支援事業担当、看護師）

3. 開催日時

第 1 回検討委員会

- ・日時：平成 25 年 6 月 25 日 10:00～12:00
- ・会場：浜松市市民協働センター 研修室
- ・委員：生島嗣、高久陽介、島谷倫次、久保田君枝、鈴木恵子、山城口ベルト
- ・内容：委員自己紹介、事業と年間スケジュールの説明、相談事業の構築体制、啓発活動の方法と内容、情報発信の仕組、ネットワーク体制の必要性について。

第 2 回検討委員会

- ・日時：平成 25 年 10 月 22 日 10:00～12:00
- ・会場：特定非営利活動法人魅惑的倶楽部 第 1 会議室
- ・委員：佐藤郁夫（生島嗣代理）、高久陽介、島谷倫次、大場菜生子（鈴木恵子代理）、久保田君枝、山城口ベルト
- ・内容：啓発活動の状況と継続方法、相談事例のカンファレンス、情報発信の内容、情報弱者の支援方法、問題点の解決方法について。

第3回検討委員会

- ・日時：平成25年12月23日10:00~12:00
- ・会場：浜松市市民協働センター 研修室
- ・委員：生島嗣、高久陽介、島谷倫次、真野新也、鈴木恵子、久保田君枝
- ・内容：啓発活動による情報分析、情報発信の内容（多言語（日本語、英語、スペイン語、ポルトガル語）ホームページ公開）、アプリ開発、情報の差別化について

第4回検討委員会

- ・日時：平成26年2月21日10:00~12:00
- ・会場：クリエート浜松 会議室
- ・委員：生島嗣、高久陽介、島谷倫次、真野新也、鈴木恵子、久保田君枝、山城ロベルト
- ・内容：相談事業の結果報告、静岡エイズシンポジウムから得た情報、ホームページの情報の更新と今後の方向性、事業のまとめと問題点、今後の展開と活動方法について。



啓発及び支援検討委員会の開催時の写真

Ⅲ 啓発活動への協力事業

当法人と連携がある特定非営利活動法人魅惑的倶楽部が開催しているレッドリボンプロジェクトに参加して啓発活動を行いました。浜松市内においては外国人市民も多数在住していることから当法人に協力している多言語スタッフ(ポルトガル語・スペイン語)も参加をして多言語で情報発信を行いながら、相談があった時は多言語で対応しました。

1. 参加イベント

A) NLGR+2013

NLGR+は名古屋市中区栄にある池田公園で開催されるセクシャルマイノリティのお祭りです。また、この公園の近くにある中保健所で血液検査にてHIV・梅毒・肝炎の性病の検査も行っており、1日目が血液採取、2日目に結果を告知するという形式で行って



います。また、公園内ではセクシャルマイノリティや陽性者支援団体、薬物依存支援団体など色んな団体が集まり、ブースの出展、情報提供やイベントを行って、LGBT(レズビアン・ゲイ・バイ・トランスジェンダー)や性感染症についての情報発信を行いました。その中で当団体は特定非営利活動法人魅惑的倶楽部と共に参加をして、来場者にコンドームを渡しながら感染予防の大切さとコンドームの使用が予防にとっても役に立つということの説明を行いました。

- ・主 催：NLGR+実行委員会
- ・日 時：平成 25 年 6 月 8 日（土）13:00～20:00
平成 25 年 6 月 9 日（日）12:00～18:00
- ・会 場：池田公園（愛知県名古屋市中区 4 丁目にある街区公園）
- ・実施内容：イベント会場来場者にコンドームを配布しながらセーフセックスの重要性を説明したり、来場した外国人市民に対して多言語で情報発信を行い、コンドームとパンフレットを無料配布しました。

B) 第 29 回富士物産フェア

富士物産（株）という企業のお客様感謝イベントですが、そこで、「NPO 村」のブースが作られました。企業の CSR（社会貢献）の一環ですが、その中に「ストップエイズキャンペー

ン」のブースも出店することができ、その場で啓発活動を行いました。

- ・主 催：富士物産グループ
- ・日 時：平成 25 年 9 月 14 日（土）10:00～17:00
平成 25 年 9 月 15 日（日）10:00～17:00
- ・会 場：浜名湖ガーデンパーク（浜松市西区村櫛町 5475-1）
- ・実施内容：イベント会場来場者に、HIV についての啓発と日本の現状を伝えました。また、HIV についてのアンケート調査も行い、ご協力をいただいた方にコンドームとパンフレットを無料配布しました。

C) 浜松オートレース場 第9回レッドリボンカップ

特定非営利活動法人魅惑的倶楽部を中心とした「レッドリボンプロジェクト」の一つである「レッドリボンカップ」は浜松オートレース場では 10 年目の継続開催ですが、全国で唯一公営競技場での啓発活動となっています。浜松オートレース場での啓発は 10 年になりますが、最初の年はブース出展のみで啓発を行ったところ、この活動に浜松オートレース場の選手会が賛同をし、翌年度よりレッドリボンカップというレースが生まれ魅惑的倶楽部と協働で毎年開催を行ってきました。今年から当団体もレッドリボンカップの開催に協力しています。

- ・主 催：特定非営利活動法人魅惑的倶楽部
- ・日 時：平成 25 年 11 月 14 日（木）10:00～16:00
平成 25 年 11 月 15 日（金）10:00～16:00
平成 25 年 11 月 16 日（土）10:00～16:00
平成 25 年 11 月 17 日（日）10:00～16:00
- ・会 場：浜松オートレース場（浜松市中区和合町 936-19）
- ・実施内容：会場来場者に HIV についての情報発信を行うと同時にブースでは血圧測定、会場内では HIV についてのアンケート調査を行った。血圧測定は健康管理という面と、後は、測定しながら HIV についての話をするという形で情報を届ける対象者に届きやすい形で情報発信し、コンドームとパンフレットを無料配布しました。



D) アグレミーナ浜松「レッドリボンカップ」

今年度より啓発活動を増やすためアグレミーナ浜松の協力をいただき、浜松アリーナ初の啓発活動となる、フットサル試合に多言語（日本語。ポルトガル



語、スペイン語)にてSTOP エイズキャンペーンを開催し、幅広い年代層や多国籍に啓発を行いました。

- ・主 催：特定非営利活動法人魅惑的倶楽部
- ・日 時：平成 25 年 12 月 8 日 15:00～21:00
- ・会 場：浜松アリーナ（浜松市東区和田町 808-1）
- ・実施内容：来場者に、HIV についての情報発信とコンドームの配布を行いました。試合の途中のハーフタイムの時には多言語（日本語、ポルトガル語、スペイン語）で HIV について啓発を行いました。

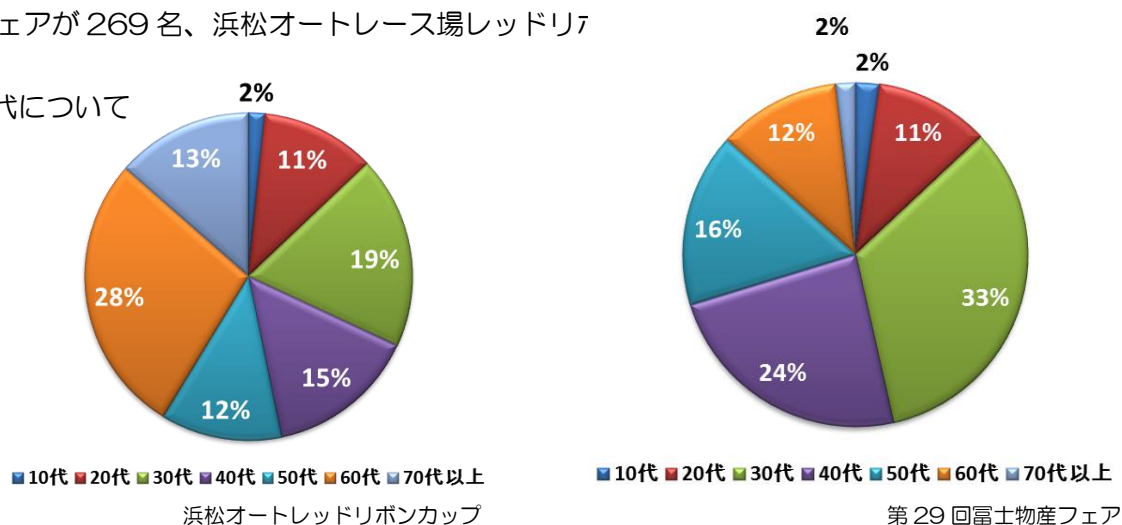
E) パンフレット配布

- ・平成 25 年 7 月 27 日、アグレミーナ浜松主催のフットサル大会 in 袋井
- ・平成 25 年 11 月 10 日、浜松外国人医療援助会主催の第 27 回浜松外国人無料検診会
- ・平成 25 年 11 月 17 日、掛川市主催のインターナショナルフェスティバル in 掛川
- ・平成 25 年 11 月 24 日、一般社団法人グローバル人財サポート浜松主催の第 2 回グローバルストリートフェスタ

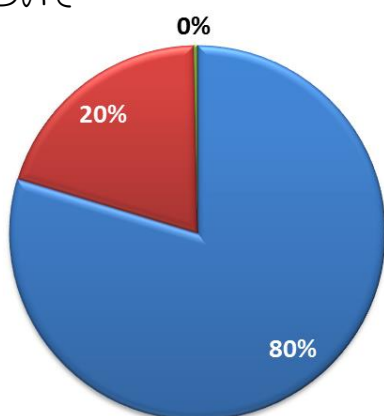
2. アンケート実施

今回は株式会社ロジックの協働事業によりアンケートアプリと iPad の無償提供を受けて特定非営利活動法人魅惑的倶楽部が富士物産フェアと浜松オートレース場レッドリボンカップにて集計を行いました。富士物産フェアは若年層や家族連れが多く、浜松オートレース場レッドリボンカップは若年層から年配層まで幅広い年齢層の集計が取れるので回答する対象が違うことと、富士物産フェアは今年が初めて、浜松オートレース場レッドリボンカップは 10 年間啓発を行ってきたということで初めて行うところと継続をしてきたところで行うのでは理解度にどれくらい差が出るのかを比較するため、今回はこの二か所でアンケート調査を行いました。調査人数は富士物産フェアが 269 名、浜松オートレース場レッドリ

A) 年代について

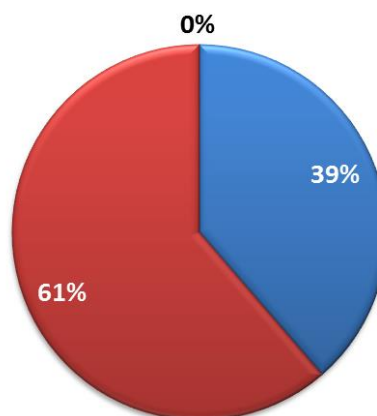


B) 性別について



■男 ■女 ■無回答

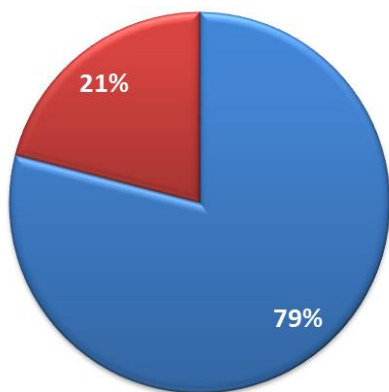
浜松オートレッドリボンカップ



■男 ■女 ■無回答

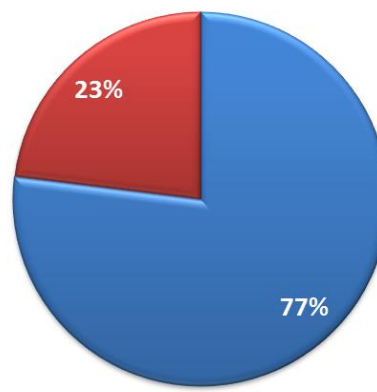
第29回富士物産フェア

C) エイズウイルスに感染する人は、日本で増えていることを知っていますか。



■はい ■いいえ

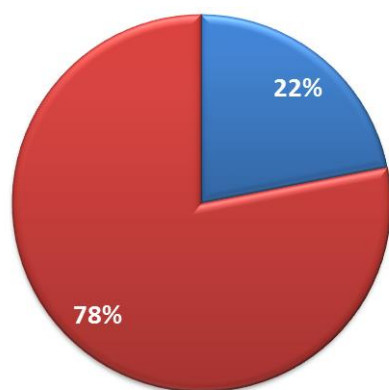
浜松オートレッドリボンカップ



■はい ■いいえ

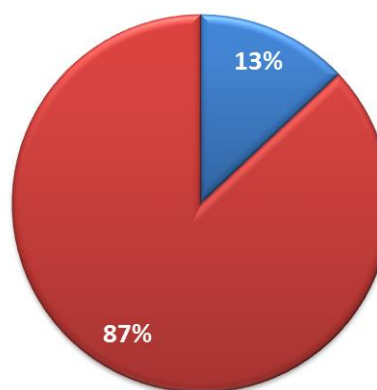
第29回富士物産フェア

D) 2006年、日本で感染者が多かった都道府県の第1位は、東京都、第2位は、大阪府、第3位は静岡県であることを知っていますか。



■はい ■いいえ

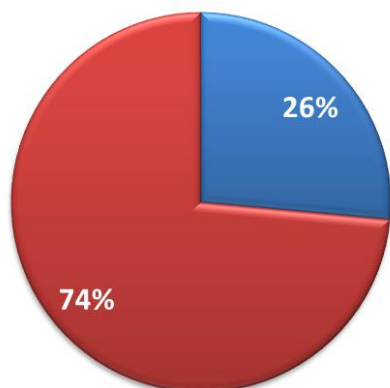
浜松オートレッドリボンカップ



■はい ■いいえ

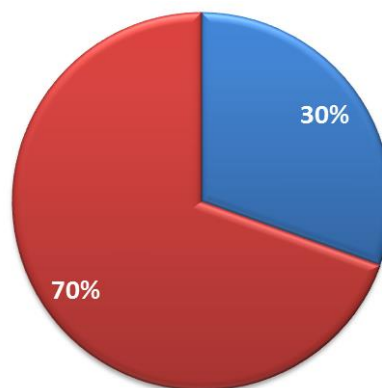
第29回富士物産フェア

E) エイズの検査を受けようと思ったことはありますか。



■はい ■いいえ

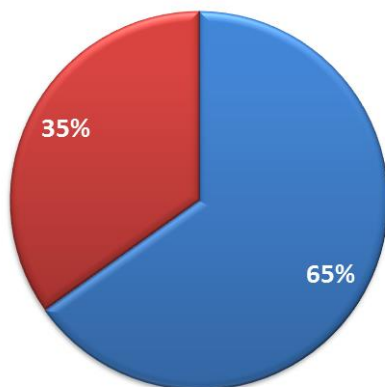
浜松オートレッドリボンカップ



■はい ■いいえ

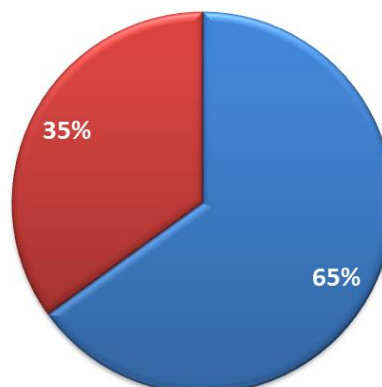
第29回富士物産フェア

F) 自分がエイズウイルスに感染したら、親や友人に伝えますか。



■はい ■いいえ

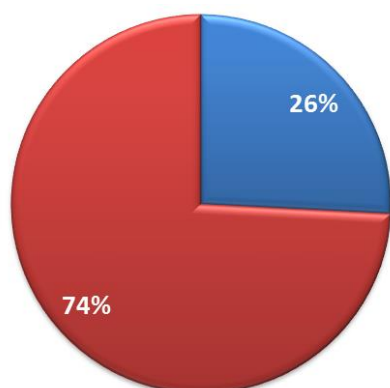
浜松オートレッドリボンカップ



■はい ■いいえ

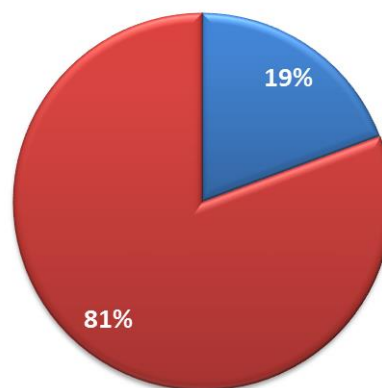
第29回富士物産フェア

G) 今後自分がエイズウイルスに感染する不安がありますか。



■はい ■いいえ

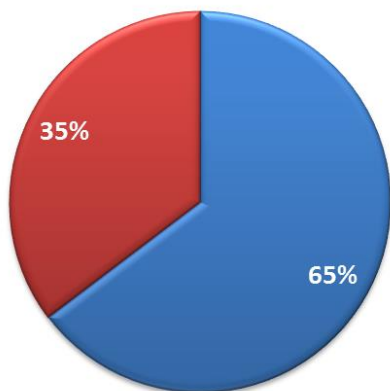
浜松オートレッドリボンカップ



■はい ■いいえ

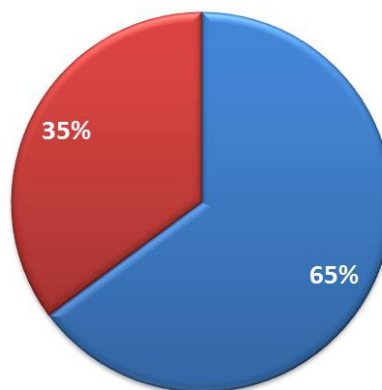
第29回富士物産フェア

H) エイズの検査は、全国の保健所で匿名、無料で受けられることを知っていますか。



■ はい ■ いいえ

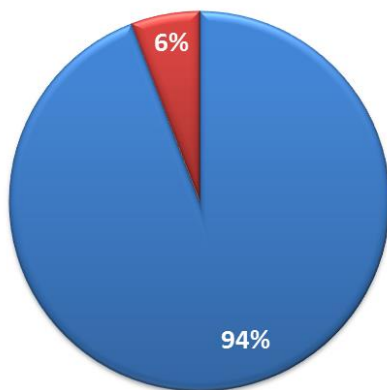
浜松アウトレットレッドリボンカップ



■ はい ■ いいえ

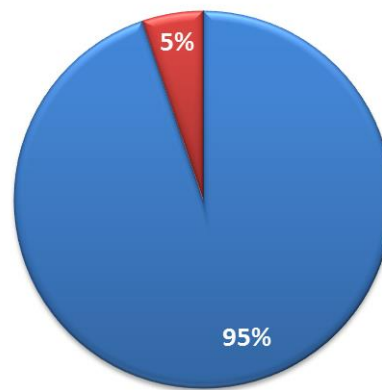
第29回富士物産フェア

I) コンドームは、感染を防ぐために有効であることを知っていますか。



■ はい ■ いいえ

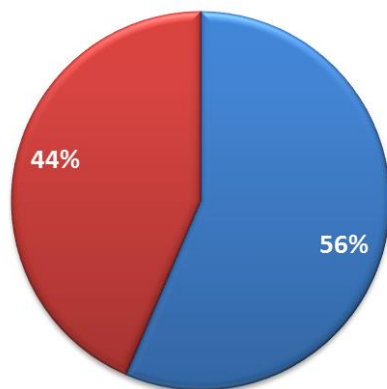
浜松アウトレットレッドリボンカップ



■ はい ■ いいえ

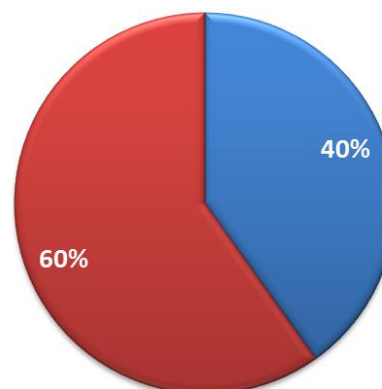
第29回富士物産フェア

J) レッドリボンの意味を知っていますか。



■ はい ■ いいえ

浜松アウトレットレッドリボンカップ



■ はい ■ いいえ

第29回富士物産フェア

IV 感染者への支援体制の構築事業

浜松市を拠点として静岡県全域で HIV 感染者が気になる事についての相談（電話・対面）を行ったり、障害者手帳（免疫機能障害 1 級～4 級）の手続きや関連する支援についての相談、生活や自立に向けた相談に対応し、内容によっては保健師やソーシャルワーカー、弁護士や支援ネットワークなどと連携を図って解決に進めるような体制を構築して対応しました。またコミュニティスペースを同時オープンすることで当事者同士による心のケアを行える場所の提供を行いました。

1. 支援体制

A) 相談支援員

- ・久保田君枝（国立大学法人浜松医科大学助産学専攻科 教授）
- ・野口功（一般社団法人ブリッジハートセンター東海 医療福祉支援事業担当）
- ・山城ロベルト（一般社団法人ブリッジハートセンター東海 代表理事）

B) 通訳（スペイン語・ポルトガル語）

- ・山城ロベルト（一般社団法人ブリッジハートセンター東海 代表理事）

C) 会場

- ・はままつコミュニティスペース（まちなか保健室 1 階）

D) 開催日時

- ・期間：平成 25 年 6 月～平成 26 年 3 月まで（述べ日数 100 日間）。
- ・曜日：第 1 と第 3 木曜日、毎週の金・土曜日（月に 10 回開催）
- ・時間：17:00～21:00

E) 相談方法

- ・個別相談：電話やメールで連絡をもらい、日時を決定します。
- ・電話相談：番号は「080-9490-6365」、月～金 17 時～21 時まで受付します。
- ・メール相談：メール「sos@bhctokai.jp」24 時間を受付します。

2. 相談件数の内訳

A) 相談件数

- ・HIV 関連：160 件
- ・その他：17 件

B) 内容・年代別等の相談件数

(平成 25 年 6 月～平成 26 年 2 月末)

		工 場 に 関 連 す る 相 談	検 査 に 関 連 す る 相 談	社 会 福 祉 サ ー ビ ス に 関 係 す る 相 談	日 常 生 活 に 関 係 す る 相 談	病 院 ・ 治 療 に 関 係 す る 相 談	薬 に 関 係 す る 相 談	当 事 者 に 関 係 す る 相 談	合 計
相談件数 (外国籍数)		47 (2)	23 (1)	13 (3)	6 (1)	13 (2)	31 (2)	44 (5)	177 (16)
パーセント (%)		27	13	7	3	7	18	25	100
年代別	10代	4	1	0	0	1	5	10	21
	20代	13	6	2	0	2	8	12	43
	30代	15	10	2	3	4	10	15	59
	40代	8	3	4	2	3	7	5	32
	50代	4	2	5	1	3	1	2	18
	60代以上	3	1	0	0	0	0	0	4
性別別	男性	44	22	8	4	11	28	36	153
	女性	3	1	5	2	2	3	8	24

3. 相談内容について

A) HIV に関連する相談

(1) HIV について (18 件)

- 質問 1 : HIV とは？
- 回 答 : HIV はヒト免疫不全ウイルスのことで免疫力を下げるウイルスのことです。
- 質問 2 : HIV に感染したらどうなる？
- 回 答 : HIV=AIDS=死ではなく HIV に感染しても大体 10 年ぐらい無症状の状態が続きます。ウイルスは体内に存在し、増え続けますが症状があまり出ないので発見は検査でしかわかりません。ただしこの期間でも他者へ感染させてしまう可能性は高いです。
- 質問 3 : 感染経路は？
- 回 答 : 性行為による感染、血液を介しての感染、母子感染です。因みに、汗、涙、唾液、

尿、便などの体液の接触による感染の可能性はありません。つまり、通常の社会生活の中で感染することはありません。

(2) HIVとAIDSの違い(17件)

• 質問 1 : HIV と AIDS の違いは？

• 回 答 : HIV (ヒト免疫不全ウイルス) は免疫のしくみの中心であるヘルパーT リンパ球 (CD4 細胞 : 血液内にある免疫機能の一つの総称) という白血球などに感染。からだを病気から守っている免疫力を破壊。感染から通常 6~8 週間経過して、血液中に HIV 抗体が検出されます。感染から数週間以内にインフルエンザに似た症状が出る場合がありますが、この症状からは HIV 感染しているかどうかを確認することはできないので HIV 検査を受けることではじめて感染の有無を確認することができます。

AIDS (後天性免疫不全症候群) : 生まれた後にかかる (後天性)、免疫の働きが低下すること (免疫不全) により生じる、いろいろな症状の集まり (症候群) のことを指します。つまり HIV とは免疫機能を壊して免疫力を下げるウイルスの名前であり、AIDS とは HIV によって免疫力が下がり、色んな病気が発症する病名です。まったく関係がないわけではありませんが感染とイコールではありません。

(3) HIVとAIDSの症状(12件)

• 質問 1 : HIV と AIDS の症状とは？

• 回 答 : HIV (ヒト免疫不全ウイルス) : 感染初期症状は人によって様々、急性感染期 (初期症状) では血中にある HIV ウイルスが爆発的に増えるため、一時的に免疫が衰え、体の中に抗体が出来るまで初期症状が続くことがあります。

割合では、風邪やインフルエンザに似た症状約 93%、リンパの腫れ約 75%、発疹約 50%、他に頭痛・下痢・関節痛・筋肉痛などと言われていますが、全く症状がないという人もいます。

AIDS (後天性免疫不全症候群) : 血液中の CD4 陽性 T 細胞がある程度まで減少していくと、身体的に免疫力低下症状を呈するようになります。多くの場合、最初は全身倦怠感、体重の急激な減少、慢性的な下痢、極度の過労、帯状疱疹、過呼吸、めまい、発疹、口内炎、発熱、喉炎症、咳など、風邪によく似た症状のエイズ関連症状を呈してきます。

また、顔面から全身にかけての脂漏性皮膚炎 (皮膚の下に油が溜まっている状態) などもこの時期に見られます。その後、免疫力の低下と共に、普通の人間生活で

はかからないような多くの日和見感染を生じ、ニューモシスチス肺炎やカポジ肉腫、悪性リンパ腫、皮膚がんなどの悪性腫瘍、サイトメガロウイルスによる身体の異常等、生命に危険が及ぶ症状を呈してきます。また、HIV 感染細胞が中枢神経系組織へ浸潤(しんじゅん)し、脳の神経細胞が冒されると HIV 脳症と呼ばれ、精神障害や認知症、ひどい場合は記憶喪失を引き起こすこともあります。通常感染してから長期間経過した後に 23 の疾患 (AIDS 指標疾患という) のいずれかを発症した場合に AIDS 発症と判断されます。

※23の AIDS 指標疾患 (カンジダ症・壊疽・クリプトコッカス症・ニューモシスチス肺炎 (PC 肺炎=旧カリニ肺炎)・コクシジオイデス症・ヒストプラズマ症・クリプトスポリジウム症・トキソプラズマ脳症・イソスポラ症・サルモネラ菌血症・サイトメガロウイルス感染症・化膿性細菌感染症・帯状疱疹/単純ヘルペスウイルスなどヘルペスウイルス感染症・活動性結核 (active tuberculosis) ・非定型抗酸菌症・反復性肺炎・リンパ性間質性肺炎/肺リンパ過形成・カポジ肉腫・原発性脳リンパ腫・非ホジキンリンパ腫・浸潤性子宮頸癌・進行性多巣性白質脳症・HIV 脳症・HIV 消耗性症候群)

B) 検査に関連する相談

(1) 検査場所について (12 件)

- 質問 1 : 愛知・静岡県内の検査場所はどこにありますか？
- 回答 : 愛知・静岡県内の保健所、総合病院、泌尿器科や感染症を診療している個人病院または血液検査を実施している個人病院であれば行うことができます。基本的に検査は血液検査なので検査前に予約を入れたほうが良いと思います。

- 質問 2 : 匿名で受けられる所はありますか？
- 回答 : 保健所では基本的に匿名、無料で受けられます。病院の場合は、有料で行うので必ず診療となり匿名で受けることは出来ません。また保険適用かどうかは検査を受けるタイミングで変わります。例えば自分が HIV かもと思ってその検査だけを受けるために受診した場合は全額自己負担となります。ただし、事前に HIV 陽性の検査結果がでて受診したり、他の病気の治療や手術前の検査のために行う場合は保険適用となり 3 割負担となります。自分が陰性かどうかかわからずに検査をしたいならまずは保健所に行き無料匿名で受けるほうが良いと思います。

(2) 検査内容 (11 件)

- 質問 1 : 検査はどのようにするのですか？
- 回答 : 血液検査で行います。この方法は保健所も病院も一緒に、血液を採取して血中にウイルスがないかをチェックします。方法は何通りかありますが一番主流なの

は、※HIV 抗体検査(保健所で行っている検査方法)…血液の中にH I Vに対する抗体があるかどうかを調べる検査です。血液は5～10ccほどの採血をするだけ。これをまず「スクリーニング検査」にかけます。ここで反応があれば陽性、なければ陰性となりますが、陽性の結果が出た場合はさらに「確認検査」を行います。「確認検査」によって陽性の結果が出た場合は、血液中にH I Vの抗体がある、つまりH I Vに感染していると判定されます。機関によってもまちまちですが、検査を受けてから通常検査だとだいたい2週間前後で結果が出ます。この検査方法はかなり過敏に陽性反応が出るので疑陽性として認定することが多いです。検査は確実に反応を出すためにリスクのある行為をしてからだいたい三か月後に検査をすることをすすめています。

※NAT 検査(病院{正式にはリアルタイム PCR 検査・コバスタックマン HIV-1「オート」}や献血前検査で行っている方法)…核酸増幅検査と呼ばれる検査法です。この検査は、血液中に存在するウイルスを構成する核酸の一部を、試験管内で人工的に多量に増幅(ウイルスの一部を多量にコピーして増やすこと)して、そのウイルスを直接検出する方法で、ウイルスが極少量でもあれば、ウイルスの一部を1億倍以上に増やし検出することができる非常に優れた検査法です。1999年(平成11年)10月10日より、血液センターで献血された血液に対するHBV、HCV、H I Vの3種のウイルスに対してNATが実施されています。一度にHBV、HCV、H I Vの検査を実施できるため、この検査が陽性になると、再度、HBV、HCV、H I Vの個々のNAT検査を行い、どのウイルスが陽性かを決める必要があります。(NAT 検査は、血液センター専用開発された検査で、医療機関や保健所では実施されていませんが、医療機関でエイズのPCR検査がエイズ検査として採用される前に、血液センターでNAT 検査が採用され、その名称があまりにも有名となり、エイズPCR検査がNAT 検査と呼ばれるようになり、現在もそう呼び続けられています。医療機関での、エイズPCR検査は、現在は、リアルタイムPCR検査すなわち、コバスタックマン HIV-1「オート」が正式な名称です。) NAT 及びコバスタックマン HIV-1「オート」は共に不安な行為から、11日以降に受ければ、信頼できる結果が得られます。

C) 社会福祉サービスに関係する相談

(1) 障害者手帳取得の流れ(1件)

- 質問1：障害者手帳はどのように取得するのですか？
- 回答：どの障害でも必ず身体障害者認定員の資格を有する医師の診断書が必要になってきます。4週間以上の間を開いた連続した2回以上の検査データが条件を満たせば*いつでも申請できます(薬の投薬の有無や感染経路は関係ありません)ので、まずは病院で診断書をとって、その診断書と他に必要な書類(顔写真1枚(タテ4cm×ヨコ3cm・スナップ写真を切り抜いたものでも可)、認め印)をそろえて障害福祉課へ提出します。浜松市身体障害者更生相談所が審査を行い、障害を

認定するという流れで決定が下りたら手帳が交付となります。

*ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害認定条件：13歳以上の者の場合

等級	条件（ヒト免疫不全ウイルスに感染していて、次のいずれかに該当するものをいう）
1級	<ul style="list-style-type: none"> • CD4陽性Tリンパ数が200/μl以下(4週間以上の間隔をおいた連続する2回の検査結果の平均値)で、表1のうち6項目以上が認められるもの。 • 回復不能なエイズ合併症のため介助なくしては日常生活がほとんど不可能な状態。
2級	<ul style="list-style-type: none"> • CD4陽性Tリンパ数*が200/μl以下で表1のうち3項目以上認められるもの。 • エイズ発症の既往があり、表1のうち3項目以上が認められるもの。 • CD4陽性Tリンパ数*に関係なく、表1の1~4を含む6項目以上が認められるもの
3級	<ul style="list-style-type: none"> • CD4陽性Tリンパ数*が500/μl以下で、表1のうち3項目以上が認められるもの。 • CD4陽性Tリンパ数*に関係なく、表1の1~4を含む4項目以上が認められるもの。
4級	<ul style="list-style-type: none"> • CD4陽性Tリンパ数*が500/μl以下で、表1のうち1項目以上が認められるもの。 • CD4陽性Tリンパ数*に関係なく、表1の1~4を含む2項目以上が認められるもの。

*CD4陽性リンパとはエイズウイルス(HIV)の感染によって破壊される免疫細胞の一種です。正常範囲は700~1300とされていますが、エイズに感染したときには破壊されてこの値が大幅に減少するため、エイズの診断や進行の度合いを測るうえで重要な指標となっています。CD4陽性リンパ球細胞がHIV感染によって少なくなってくると、感染症に対して防御が甘くなるので、色々な感染症にかかりやすくなります。

表1 検査所見・日常生活活動制限

12項目	内容
1	白血球数について3,000/ μ l未満の状態が4週以上の間隔をおいた検査において連続して2回以上続く
2	Hb量(ヘモグロビン)について男性12g/dl未満、女性11g/dl未満の状態が4週以上の間隔をおいた検査において連続して2回以上続く
3	血小板数について10万/ μ l未満の状態が4週以上の間隔をおいた検査において連続して2回以上続く
4	ヒト免疫不全ウイルス-RNA量について5,000コピー/ml以上の状態が4週以上の

	間隔をおいた検査において連続して2回以上続く
5	一日1時間以上の安静臥床を必要とするほどの強い倦怠感および易疲労が月に7日以上ある
6	健常時に比し10%以上の体重減少がある
7	月に7日以上不定の発熱(38°C以上)が2か月以上続く
8	一日に3回以上の泥状ないし水様下痢が月に7日以上ある
9	一日に2回以上の嘔吐あるいは30分以上の嘔気が月に7日以上ある
10	口腔内カンジダ症(頻回に繰り返すもの)、赤痢アメーバ症、带状疱疹、単純ヘルペスウイルス感染症(頻回に繰り返すもの)、糞線虫症及び伝染性軟属腫等の日和見感染症の既往がある
11	生鮮食料品の摂取禁止等の日常生活上の制限が必要である
12	軽作業を越える作業の回避が必要である

(2) 障害者支援について (1件)

- 質問 1: 手帳を受けるとどのような支援が受けられるのですか?
- 回答: 医療面は更生医療、高額医療給付金などがあります。生活に関しては公共交通機関料金の割引、高速道路の割引、税金の優遇など受けられる支援が多くあります。また県や政令指定都市で変わることもあるので自身が住んでいる地域の障害福祉担当窓口で確認をしてみてください。

(3) 障害者年金申請方法 (3件)

- 質問 1: 障害者年金の申請はどうするのですか?
- 回答: 原則、国民年金加入中に障害になったときや、20歳前の傷病で障害になったときに、障害の程度と受給資格が該当する人が受けられます。障害の程度とは、障害認定日(初診日から1年6ヶ月を経過した日、または1年6ヶ月以内で症状が固定した日)に国民年金法で定められた、1級または2級の状態にあることを指します。

●受給資格(次のいずれかに該当すれば対象となります)

- 初診日(障害となった疾病やケガなどで初めて医師の診察を受けた日)の前々月までの加入期間のうち3分の2以上保険料が納付されている事。免除、学生納付特例、若年者納付猶予期間も含まれます。(初診日の前日までにおいて)
- 初診日の前々月までの1年間に保険料の未納がない事。(初診日の前日までにおいて)なお、初診日以降に納付した保険料や届出をした免除期間などは含まれないのでご注意ください。

• 質問 2：申請先はどこですか？

• 回答：初診日の時に働いていて、保険が社会保険であれば厚生年金等になるので申請先は社会保険事務所、働いておらず国民保険であれば国民年金になるので市役所内の年金担当課となります。また年金の種類によって受けられる等級が違ってきます。厚生年金は 1～3 級まで、国民年金は 1・2 級までとなっています。

(4) 障害者手帳と年金手帳の等級の違い (6 件)

• 質問 1：年金等級はどのように決定するのですか？

• 回答：初診から一年半後または症状が固定するまでどのような時系列で症状が変化をしたのかを総合的にみて「現在の生活にどれだけ障害があるのか？」を判断して決まります。障害者手帳で一級を取っていても年金等級が必ずしも一緒とは限りません。

• 質問 2：年金等級と障害等級を分ける理由は？

• 回答：障害等級は治療や行政による生活支援など色んな事に関わってきます。病気によって治療はそこまでかからないけど生活には支障をきたすといった内容などに対応するために基準が決まっていますが、年金等級は基本的にその方が就業に対しどれだけ弊害を抱えているかで等級が決まります。仕事をしなければ生活ができません。障害者年金は元々障害を負って仕事ができなくなり生活が苦しい方のための制度なので、基本的に通院治療は必要であるが就業が可能であると認められる方は障害者年金給付対象外となる事もあります。

(5) 手帳支援の他県での内容 (1 件)

• 質問 1：障害者手帳を他県で使用できますか？

• 回答：手帳の各種サービスについては大きくは変わらないと思いますが地域で変わるものもありますので一度関係する市役所の障害福祉担当課に連絡をしてみてください。

(6) 生活について (生活保護について) (1)

• 質問 1：最近 HIV 感染がわかってもうすぐ治療も始まるが、体調不良で仕事を辞めてしまいました。雇用保険の支払いは対象ではないのですが、貯金もないのでどのように生活と治療をしたらよいか分かりません。

• 回答：障害者年金の支払い対象からも外れているので年金の申請はできませんが生活と治療にお金がかかるので落ち着くまで生活保護を受けてはいかがでしょうか？

• 質問 2：生活保護の申請をしに行ったのですが、なんだか担当者が「あなた本当に体調悪いの？」って感じの内容の質問があってなかなか前進しないのでどうしたらよい

でしょうか？

- 回 答：当法人に協力をいただいている弁護士に相談をしてみますので、少しお時間をいただきます。弁護士経由で生活保護支援ネットワークに連絡をして対応、現在は生活保護を受給しています。

D) 日常生活に関係する相談

(1) 感染後の結婚生活について (1 件)

- 質問 1：彼女がいて結婚を考えています。大丈夫でしょうか？
- 回 答：感染しているから結婚できないということはないと思います。本当にお互いに理解しあっていて、病気について理解しているのであれば後はご本人次第ではないでしょうか？
- 質問 2：自身は陽性で彼女は陰性ですが感染させずにセックスするにはどうすればよいですか？
- 回 答：セーフターセックスを心掛けてください。めんどくさいかもしれませんがスタートからラストまでコンドームを正しく使用して、もし射精をした後も継続して行為をする場合は必ず新しいコンドームに交換して行うように心がけてください。HIV はもともと感染力がとても弱いウイルスなので正しく予防すればほぼ感染は防げます。彼女さんのことを大切に思っているなら必ず実行してください。

(2) 社会保険事務所の対応について (1 件)

- 質問 1：社会保険事務所に障害者年金の申請を行いにいった時にひたすら「他の病院はないか？」とか「この病気では難しい」とか言われていて、聞きたいことが全然聞けませんでした。他の保険事務所もこんな感じですか？
- 回 答：すべての事務所がそうではありません。ただ、HIV での申請はできますが、働くことができるかと認定された場合はなかなか難しいと思います。また今回は他の障害も重複しているのでそちらで申請を行ってみてはいかがでしょうか？とりあえずはまだ申請時期まで時間がありますのでゆっくり考えてみてください。

(3) 法律相談事務所の対応について (1 件)

- 質問 1：法律相談所に相談に行ったのですが、病気の事ばかり聞いてきて本来の自分が相談していることについてはあまり触れてくれなかったです。内容は自分が悪いみたいな言い方もされていますがどうなのですか？
- 回 答：法律においては専門家でも病気については初心者といったところでしょうか。まずは、相談に行った時の内容については 1 人で何でも抱え込まずに色々な支援者と共に少しずつ進んだほうが良いと思います。抱え込みすぎると周りが見えなく

なりますから、落ち着いて周りの人と一緒に進みましょう。法律相談については対応する弁護士によって対応が断然変わってきますのでもし余裕があるなら専門に対応している弁護士に相談するのも一つの方法です。

(4) 生活について（精神的なケアについて）（1）

- 質問 1：社会保険事務所での対応について気持ち的には落ち着いてきました。でもまだ辛いのでどうしようか悩んでいます。
- 回答：通院している病院に精神科がありましたら、そちらでご相談なさってみてはいかがでしょうか？もちろんこちらでもお話はいつでもうかがいますので気軽に話してくださいね。とりあえず精神科に通ってみると本人が決め通院を始めました。

(5) 精神科での出来事（1）

- 質問 1：最初は精神科医だけしか話したくなかったが最近はカウンセラーとも話せるようになりました。だいぶ落ち着いてきたので最近はカウンセリングのみの時のほうが多いです。カウンセリングのみ受診でもいいのでしょうか？
- 回答：精神安定剤や睡眠導入剤などの処方が出ていなければ大丈夫だと思いますよ。ゆっくり少しずつ前進してくださいね。

(6) 妊娠出産について（1件）

- 質問 1：自分は陽性で彼女は陰性です。結婚して子供が欲しいですがどのようにすればよいですか？
- 回答：彼女さんが陰性であれば人工授精と同じような形になると思います。精液には HIV ウイルスは含まれますが、精子には含まれていないので彼氏さんの精子を取り出し、人工授精をして奥さんの子宮に戻すという形か、少し荒っぽい形をとる医者は精液を取り除いた精子を混ぜた液体を直接奥さんの子宮に注入するという形をとることもあります。この辺りはきちんと医師と相談をして、どのような方法で妊娠、出産をするのか決めたほうが良いと思います。本人が受診している病院と相談します。

E) 病院・治療に関係する相談

(1) 血液検査時の病院の対応（2件）

- 質問 1：年金の関係で病院に電話をした時の検査結果の報告が1回目と2回目で違うのですが？
- 回答：検査の結果を言った、言わないということはかなり大きな問題となります。まずは、状況を整理して時系列で物事を追っていき、対策を取りましょう。なお、自身がどうしたいのかもきちんと整理していないと話が出来ないのでそのこともき

はちゃんと整理してください。法律相談事務所へ当法人スタッフと共に相談しました。

(2) 病院の HIV に対する認識 (6 件)

- 質問 1：病院の HIV 感染症に対する認識ってどうなのですか？
- 回答：病院によって様々です。受け入れて快く診察をしてくれる病院もあれば、HIV は対応知識や経験、または機材がないということで対応しない病院もあります。
- 質問 2：HIV よりも HBV や HCV のほうが感染力は強いはずなのに HBV や HCV 感染者は診療をして HIV 感染者は診療しないのはなぜですか？
- 回答：きちんと聞き取り調査を行っていないので、確実なことはわかりません。ただおそらくは差別や偏見によるものだと思います。

(3) 病院の AIDS 患者の対応について (1 件)

- 質問 1：病院の AIDS 患者がわかった時の病院の対応はどういうものですか？
- 回答：HIV 診療が可能な拠点病院なら基本的に入院していただいて治療を行います。HIV 診療ができない場合はブロック拠点病院へ転院してもらっています。

(4) 拠点病院の指定方法 (2 件)

- 質問 1：拠点病院ってどのように決まるのですか？
- 回答：国や県が指定します。地域におけるエイズ診療の中核的役割を果たすことを目的に整備された病院のことであり「エイズ診療拠点病院」と呼ばれることもあります。エイズ診療における基本的な診療方針は、地域の医療機関において一般的な診療を施し、拠点病院においては重症の患者について専門的な医療を行うとされており、そのためにエイズ治療拠点病院においては様々な症例に対応可能な総合的で高度な医療を提供することを求められています。またエイズに関しては日進月歩で治療・診療方法が進歩しているので拠点病院においてはそれらの情報の収集及び地域の医療機関への情報提供・教育を行うことも役割の一つとされ、各都道府県 2 ヶ所以上の拠点病院を整備することが望ましいと厚生労働省より各都道府県に通達されています。

(5) 転院について (2 件)

- 質問 1：インターネットで調べた近場の〇〇拠点病院は医師がいないので診察ができないと言われました。紹介されたのが〇〇病院でしたがどうしてですか？
- 回答：拠点病院診療案内は拠点病院として登録されている病院すべてが載っています。ただその中で HIV をきちんと診療できる医師は意外に少ないそうです。基本的には HIV 患者は中核拠点病院を紹介されるみたいです。

F) 薬に関する相談

(1) 薬剤耐性について (3件)

- 質問 1：薬剤耐性ってなんですか？
- 回答：薬剤耐性とは菌やウイルスが薬剤に耐性を持って、薬が効かなくなることです。原因は薬の乱用だったり、決まり通りに飲まないことによってウイルスや菌の DNA が変異して薬に対する抵抗性をもって薬の効果を消したり、反応しなくなったりすることです。対応策として薬は決められた通りに決められた分を服用するのを守ることです。薬を乱用したり、飲んだり飲まなかったりすると薬剤耐性は発生しやすくなります。

(2) 服薬について (6件)

- 質問 1：どのタイミングで服薬がはじまりますか？
- 回答：服薬は大体 CD4 の数値が 300~500(通常は平均値は 1000~1500)の間ぐらい、後はウイルス量や体調なども勘案して総合的に判断します。
- 質問 2：服薬回数はどれくらいですか？
- 回答：薬の組み合わせや、病状・体調なども関係しますが大体 1日 1~2回です。
- 質問 3：薬をきちんと飲まなかったらどうなりますか？
- 回答：ウイルスが抑えられずに CD4 が下がりきって AIDS を発症したり、ウイルスが薬剤耐性を持って、薬が効かなくなります。薬は決められた時間に必ず飲むようにしてください。
- 質問 4：薬を飲む期間はどれくらいですか？
- 回答：現在の薬ではウイルスを増殖するのを抑える薬はありますが、体内から完全に除去する薬はありません。一生飲み続けることになります。

(3) HIV 抗薬の種類 (7件)

- 質問 1：HIV の薬って何種類ぐらいあるのですか？
- 回答：だいたい 20 種類ぐらいになります。
- 質問 2：HIV 抗薬って高いのですか？
- 回答：安いものは 1錠でだいたい 100 円~、高いのだと 3,000 円~4,000 円ぐらいです。平均的に使われているのは 1錠が大体 100 円~3,000 円の間ぐらいのもの数種類を毎日 1~2 回服用します。例としてツルバダ配合錠(1錠 3,756 円)とノーピア錠(1錠 122 円)とプリジスタナイーブ錠 400mg(1錠 921 円×1回 2錠)を服用することになった場合は、 $(3,756+122+1,842) \times 30 \text{ 日} = 171,600$

円となり 1 ヶ月の薬代だけで 10 万円を超えてしまいます。だから更生医療の適用が現在はされており薬代の負担を抑えられて、医療面において治療しやすい環境になってきています。

(4) 薬の成分や服薬頻度 (5 件)

- 質問 1：薬の成分はどんなのですか？
- 回答：逆転写酵素阻害剤(核酸系・非核酸系)やプロテアーゼ阻害剤、インテグラーゼ阻害剤、CCR5 阻害剤といった分類に分けられる薬で、全てに阻害剤と書いてある通りウイルスの増殖を抑えるための成分が入っています。
- 質問 2：服薬頻度はどれくらいですか？
- 回答：症状によりけりですが、1～3 種類の薬を 1 日 1～2 回服用する形が今は主流です。

(5) 薬の副作用について (6 件)

- 質問 1：薬の副作用はどんなものがありますか？
- 回答：貧血、めまい、吐き気・嘔吐、腹痛、下痢、頭痛、肝機能異常・障害、腎機能異常・障害、脂質異常・高脂血症、末梢神経障害、不眠症、精神障害など色々な副作用が発生するリスクがあります。副作用がひどくなった場合は薬を変更するという事も起こりえます。

(6) 服用の必要性 (4 件)

- 質問 1：なぜ服用が必要ですか？
- 回答：服用することでウイルスの増殖を抑え、免疫力(ここでは CD4)をあげることができます。CD4 があがってこれば、AIDS を発症するリスクは限りなく 0 に近くなり、一般の社会生活が可能となります。但し、CD4 が一般の人に比べ低くなっているため疲れやすくなり、ウイルスや菌には弱くなっています。風邪の流行期には対策が必要になってきますし、あまり重労働もおすすめできません。

G) 当事者に関する相談

(1) 陽性者の話を聞きたい (2 件)

- 質問 1：自分は陰性ですが、友人が HIV 陽性の反応が出ました。陽性の方のお話を聞いてみたいのですがいいでしょうか？
- 回答：ご紹介にあたり、今回当事者に会われたことや、話した内容は絶対に外に口外しないようにお願いします。また当事者の方に了承を得てからの返信になりますので少しお待ちいただくこととなりますのでよろしく願いいたします。当事者相談員に了承を得て、質問者へお話をさせていただきました。

(2) 気持ちのきりかえ方について (1 件)

- 質問 1 : HIV ってわかった時にどうやって気持ちを切り替えましたか？
- 回答 : (コミュニティスペース内での話で 3 名の方からお返事がありました。)
 - もともとあまり深く考えないほうだから「ふーんそうだったんだ」って感じでしたよ
 - 自分は最初はほんとに誰にも言えなかったのですが、すごく仲のいい友人に話したら普通に「そうなんだ」って言葉だけであとは今までどおりに接してもらえたから気持ちが楽になりました。
 - 普段からはあまり考えないようにしてます。考えても結果は変わらないから。

(3) 陽性者同士が集まって情報交換 (24 件)

- HIV 当事者が集まって私生活やその他色々な情報の交換を行った
- 主に、薬事・就職や仕事・普段の生活・陽性者の SEX に対する考え方等
- コミュニティスペース参加者同士の情報交換

(4) その他 (17)

- HIV に直接関係はないが関連がある内容
- 主に、セクシャリティ・性生活・同性愛者に対する考え・精神的な悩み・ドラッグの危険性等
- コミュニティスペース参加者同士の情報交換

V 啓発活動及び感染者支援情報整理及び発信事業

無料検査会の案内や匿名で受けられる場所のリストを作成して公開（民間・行政）する。HIV に感染しても実際にはウィルス量や CD4 の数値、既症状によって障害等級は決定されるが大体 CD4 が平均で 300～500 位(通常の平均は 1000～1500)にならないと障害者手帳の申請ははじまらないということや、障害者手帳をもらったら全

ての情報をもらえるという誤解もあるので実際にはどのように手続きをすればよいのか、また、どのような支援を受けられるのか（自立支援、重度身障者医療費助成、障害者年金、公共施設利用免除等・浜松市内の場合）を細かく掲載したホームページを多言語（日本語・ポルトガル語・スペイン語・英語）で作成とアプリ開発を行いました。県や市町村、政令指定都市によって受けられる支援が変わってくるので東海 4 県の支援団体と連携をして情報収集も行い、当事者同士で心のケアを行っている団体のリストも情報収集しホームページとアプリの情報を掲載しました。

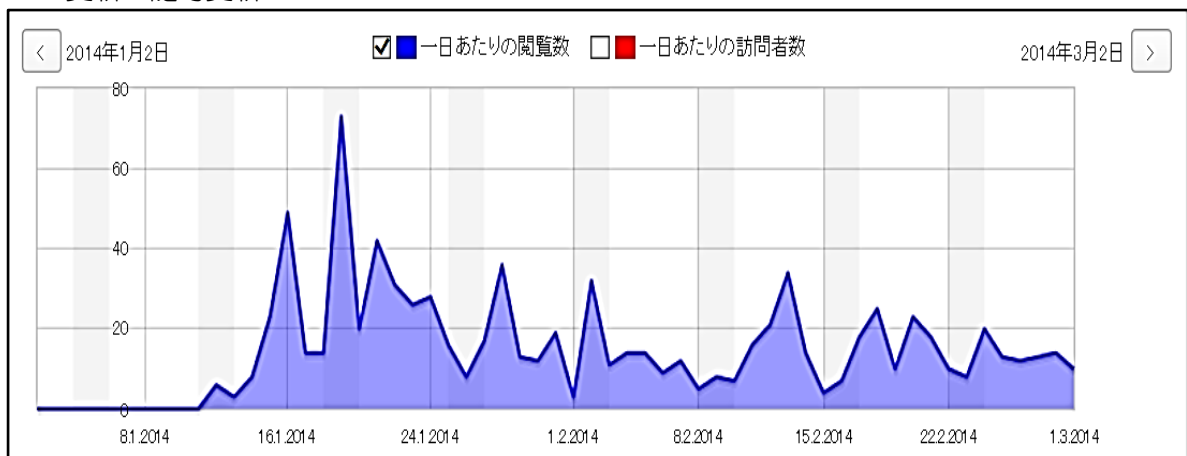


1. ホームページ作成・公開

- 名称：Red Ribbon Network Tokai
- URL：http://bhctokai.jp/red-ribbon/
- 公開：平成 25 年 12 月 5 日
- 言語：日本語、ポルトガル語、スペイン語、英語
- 機能：検索機能、言語（日本語、スペイン語、ポルトガル語、英語）切替機能、Facebook・Twitter 機能
- 更新：随時更新



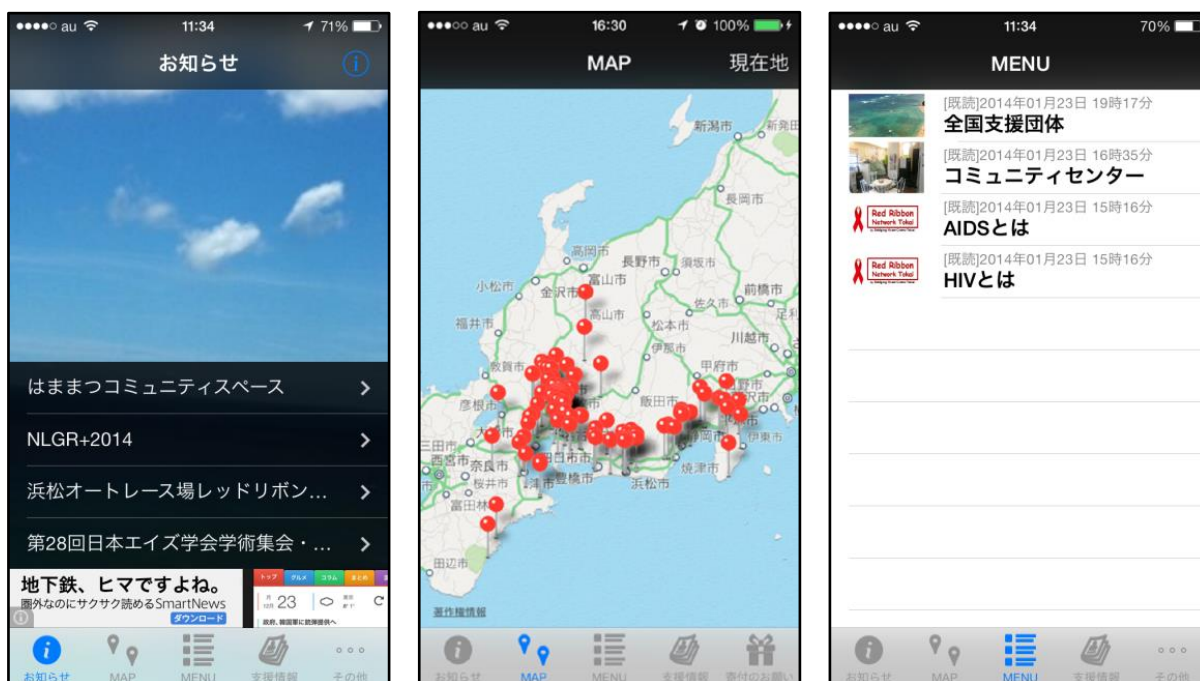
(QR コード)



アクセス数 (平成 26 年 1 月 10 日から)

2. アプリ開発

- 名称：Red Ribbon Network Tokai アプリ
- 公開：平成 26 年 1 月 28 日
- 端末：iPhone (Apple 社)
- 言語：日本語
- 内容：イベント開催の案内、専門医療機関と行政相談窓口・検査場所の案内とマップ表示、全国支援団体とコミュニティセンターの一覧表、支援制度の案内等
- 更新：随時更新
- アプリのイメージ



アプリイメージ

3. 情報発信の内容

調査は平成 25 年 10 月に行いました。

A) イベント情報

- 学会・勉強会
静岡エイズシンポジウム
第 28 回日本エイズ学会学術集会・総会
- 啓発イベント
NLGR+2014
浜松オートレース場レッドリボンカップ

B) 行政相談窓口・検査場所

東海4県で検査と相談できる場所の一覧表をリサーチ（平成25年10月に調査）して、施設名、住所、電話番号、通訳の有無、検査日程を掲載しました。

静岡県（9カ所）	愛知県（31カ所）	岐阜県（7カ所）	三重県（9カ所）
<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県賀茂保健所 ・静岡県熱海保健所 ・静岡県東部保健所 ・静岡県御殿場保健所 ・静岡県富士保健所 ・静岡県中部保健所 ・静岡県西部保健所 ・静岡市保健所 ・浜松市保健所 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県一宮保健所 ・愛知県衣浦東部保健所 ・愛知県師勝保健所 ・愛知県半田保健所 ・愛知県新城保健所 ・愛知県春日井保健所 ・愛知県江南保健所 ・愛知県津島保健所 ・愛知県瀬戸保健所 ・愛知県知多保健所 ・愛知県西尾保健所 ・愛知県豊川保健所 ・名古屋市中保健所 カササハ検査・相談室 ・名古屋市中保健所 ・名古屋市中川保健所 ・名古屋市中村保健所 ・名古屋市北保健所 ・名古屋市千種保健所 ・名古屋市南保健所 ・名古屋市天白保健所 ・名古屋市名東保健所 ・名古屋市守山保健所 ・名古屋市昭和保健所 ・名古屋市東保健所 ・名古屋市港保健所 ・名古屋市熱田保健所 ・名古屋市瑞穂保健所 ・名古屋市緑保健所 ・名古屋市西保健所 ・岡崎市保健所 ・豊橋市保健所 	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県岐阜保健所 ・岐阜県西濃保健所 ・岐阜県中濃保健所 ・岐阜県関保健所 ・岐阜県東濃保健所 ・岐阜県恵那保健所 ・岐阜市保健所 	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県桑名保健所 ・三重県鈴鹿保健所 ・三重県津保健所 ・三重県松阪保健所 ・三重県伊勢保健所 ・三重県伊賀保健所 ・三重県熊野保健所 ・三重県尾鷲保健所 ・四日市市保健所

C) 支援団体

静岡県 (2カ所)	<ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人魅惑的倶楽部 ・一般社団法人ブリッジハートセンター東海
愛知県 (7カ所)	<ul style="list-style-type: none"> ・世界エイズデー in NAGOYA ・Japan AIDS Prevention Awareness Network ・特定非営利活動法人アフリカ支援アサンテナゴヤ ・ANGEL LIFE NAGOYA ・LIFE 東海 ・Secret Base ・特定非営利活動法人 HIV と人権・情報センター中部支部
三重県 (1カ所)	<ul style="list-style-type: none"> ・三重ダルク - 薬物依存リハビリセンター

D) コミュニティセンター

静岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・はままつコミュニティスペース
愛知県	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋・栄「Rise」

E) 支援制度

静岡県	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県障害福祉支援に関する情報 http://www.pref.shizuoka.jp/a_content/2_03.html ・静岡市障害福祉支援に関する情報 http://www.city.shizuoka.jp/deps/shogaishafukusi/index.html ・浜松市障害福祉支援に関する情報 http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/syoghuku/welfare/obstacle/index.html
愛知県	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県障害福祉支援に関する情報 http://www.pref.aichi.jp/shogai/index.html ・名古屋市障害福祉支援に関する情報 http://www.kaigo-wel.city.nagoya.jp/view/wel/shiori/
岐阜県	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県障害福祉支援に関する情報 http://www.pref.gifu.lg.jp/kenko-fukushi/fukushi/shogai/
三重県	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県障害福祉支援に関する情報 http://www.pref.mie.lg.jp/FUKUSHI/HP/tebiki/syogai.htm#40
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針 http://www.acc.go.jp/information/images/O119_1_H24O119.pdf ・感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/buna/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/dl/2013_0426_02.pdf

F) 専門医療機関

静岡県（22カ所）	愛知県（12カ所）	岐阜県（8カ所）	三重県（4カ所）
<ul style="list-style-type: none"> ・沼津市立病院 ・順天堂大学医学部附属静岡病院 ・国立病院機構静岡医療センター ・伊東市民病院 ・富士市立中央病院 ・富士宮市立病院 ・静岡赤十字病院 ・静岡県立総合病院 ・静岡市立静岡病院 ・静岡済生会総合病院 ・静岡市立清水病院 ・焼津市立総合病院 ・藤枝市立総合病院 ・市立島田市民病院 ・浜松赤十字病院 ・JA 静岡厚生連遠州病院 ・総合病院聖隷浜松病院 ・浜松医療センター ・浜松医科大学医学部附属病院 ・総合病院聖隷三方原病院 ・市立湖西総合病院 ・磐田市立総合病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊橋市民病院 ・岡崎市民病院 ・安城更生病院 ・名古屋第一赤十字病院 ・国立病院機構名古屋医療センター ・名古屋市立東部医療センター ・国立病院機構東名古屋病院 ・名古屋大学医学部附属病院 ・名古屋第二赤十字病院 ・名古屋市立大学病院 ・藤田保健衛生大学病院 ・愛知医科大学病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県総合医療センター ・岐阜大学医学部附属病院 ・国立病院機構 長良医療センター ・大垣市民病院 ・木沢記念病院 ・高山赤十字病院 ・岐阜県立多治見病院 ・岐阜県立下呂温泉病院 	<ul style="list-style-type: none"> ・三重県立総合医療センター ・国立病院機構 三重中央医療センター ・三重大学医学部附属病院 ・伊勢赤十字病院

VI 啓発及び支援活動報告会の参加

1. 第27回日本エイズ学会学術集会・総会 in 熊本

- ・主 催：日本エイズ学会
- ・後 援：厚生労働省、熊本県、熊本市、国立大学法人熊本大学、熊本市医師会、日本赤十字社、公益財団法人エイズ予防財団、公益社団法人日本薬剤師会、公益社団法人日本看護協会、公益社団法人熊本県医師会、公益社団法人熊本県看護協会、社団法人日本医師会、社団法人日本助産師会
- ・開催日：平成25年11月20日～22日
- ・会 場：市民会館崇城大学ホール、熊本市国際交流会館
- ・参加者：医療関係者、学生、支援団体、HIV 当事者、一般
- ・参加費：一般 10,000 円 大学院生 5,000 円 学部学生/専門学校生 2,000 円

A) 参加をして思ったこと

今回はかなり色々な分野で話を聞きました。医療・薬事・福祉・支援・社会・生活など多岐にわたって聞き思ったことは、自分が知っていることはほんの一握りだなという事です。薬事に関しても現在は1日一回、1錠だけでという薬も開発されており、また使える薬もかなりの数になっています。でもここまで進歩して



もまだウイルスを消すことができる薬は開発できていないという事です。今回の学会において一番興味がひかれたのは広報方法と支援方法、また当事者が関わることによる問題点です。

B) 広報方法について

色々な社会の演題の中で取り上げられていました。まず、本当に届けたい人たちに届けるためにはどのようにすべきなのか、今回の学会の中では MSM（男性同性愛者）を対象にした内容が色濃く出ていましたのでその内容を抜粋します。まずは MSM（男性同性愛者）が何処で情報を得ることが多いのか？このことを理解しそれにあった場所で情報発信を行う事が一番効果的だと思いました。例えば、ハッテン場やゲイバーなどの商業施設、またアプリやゲイ向けホームページなどを利用する事により、本来届けたい対象に対する情報提供を可能とします。次に情報媒体はどうするのか？アプリやホームページならデータで見ることが可能です。ですが、商業施設で得る情報は紙ベースになる事が多いので、この内容を堂々と持って帰る事が出来る人もいれば持ち帰るのは困るという人もいるかもしれません。そのよう

な人たちの為に、例えば名刺サイズなどにして財布の中に入れておけるサイズにするなどの工夫を凝らすのも一つだなと感じました。コンパクトなフライヤーであれば持ち帰りに便利であり、配布場所においてもスペースをとらないので置いてもらいやすいことが多いです。このように対象となる人が持ち帰りやすいように工夫するのも一つの方法だと感じました。その点から今回の自分たちの活動において何が足りなかったのかがわかりました。広報媒体においてもパンフレットのみであり、広報場所においては拠点病院や施設のみで、MSM（男性同性愛者）が利用する商業施設には広報を行っていませんでしたので、その点を改善していく余地がありそうです。

C) 支援方法について

支援を行うに当たり何をすべきなのか？という事を色々な立場の人たちから聞きました。一口に支援といっても色々な支援があります。医療支援、福祉の支援、行政支援、そして支援団体による支援です。

では自分の団体に当てはめた時に何ができるのか？自分たちの団体はHIVの情報提供とHIVに関する相談支援はできますが、セクシャルマイノリティについてはどうか？、聞かれた時におそらく答えられないこともあると思います。それは今まで携わっていないことをいきなり知ったかぶりで話したところでそれは相手に寄り添う形ではなく、ただ話を聞いてるだけになってしまいます。もちろんそれでもいいかもしれませんが、やはり一番の支援は当事者が相手に寄り添う形で相手の話を聞き、相談者が一番何を求めているのかを相談者自身が決められるようにサポートをすることだと思います。では浜松市で自分たちがそのような相談体制を作るにはどうしたらよいかを考えた時に、現在セクシャルマイノリティの支援を行っている団体やサークルとつながることで色々な相談に対応できるようになります。

相談を受ける中でやはり陽性者ではないがMSM（男性同性愛者）の方からの生活に関する相談も寄せられています。ですが現在はつながりが無いので色々なことを聞いたり確認するという事が難しい状態です。だからこそこれからは自分たちだけというのではなく、色々な団体とつながる事が必要であると考えられます。ではつながるとはどのような事か？それは連携がある以上すべて協力してください!!!ではなく、お互いができることをできる範囲で協力連携していく事が必要です。



無理をすればやはり続かないのが現状です。無理なく、できる範囲で協力をしていただければ継続することも可能になってきます。お互いの長所を活かしあい、お互いに支え合う形を構築していく事が重要だと思いました。

D) 当事者が関わることによる問題点と対応方法

一番の問題であると思いました。それは、当事者の情報が外に漏れることによる本人への誹謗中傷が発生することを防ぐ事でもあるからです。今の日本においては HIV に限らず少数派の意見というのは認められていない事が強い傾向にあります。HIV/AIDS やセクシャルマイノリティ、障害などもそうですが、少数だから何もしないのではいつまでたっても変化はしません。だからこそ、当事者が声をあげ、現状を訴えなければいけないと思います。では、その現状を訴えるために当事者はどのようなことに気をつけなければいけないのか？また当事者に依頼した担当はどのような事に気をつけなければいけないのか？

まずは当事者本人は、もちろんスピーカーとして話してもらえれば一番いいのですが、自分の気持ちに正直になってほしいと思います。自分がやらなきゃ誰がやるって思いは持っている方も多いですが、やりたくないことを無理にする必要もないと思います。前述の団体の連携でも話をしましたができることをできる範囲で行う事が継続していくための一番の方法です。もちろん、顔をだしてすべて話せますという事であればそれでもいいと思います。でもできる範囲で少しずつやっていくほうが、継続するという意味では重要だと考えます。次に依頼をした担当側は必ず本人がどのような形を望んでいて、個人情報公開度合いはどの程度まで行っていいのかを必ず決めておくことです。スピーカーとして声は出してもいいが顔は出たくないという人もいるかもしれません。そのようなときには必ず何度も打合せを行い、例えば講座などになる場合は参加者と鉢合わせにならないよう配慮を行うなどのスケジュールや時間配分をしなければいけません。

当事者であるという事はとても影響力が大きい反面、危険性もはらんでいるんだという認識のもとに行動を行う必要性があると思います。完璧なことはないと思いますが、できることはすべて行い、起こり得ると考えられる問題には全てに手を打っておかなければ継続をして啓発を行うことは今の日本の現状からすると残念ながら難しいのが現状です。

E) まとめ

今回の学会において、自分がいかに知識不足であったかを痛感したのと同時に、色んなところがいろんな手法で啓発や支援を行っている内容から自分たちが誰を対象に何の情報をとどけるのかをしっかりと決めて支援を行わないといけなことを改めて感じました。まだまだ、勉強すべきことはたくさんあると思いますが一つ一つ問題点をつぶしていけるようにしたいと思います。

2. 第21回 静岡エイズシンポジウム

- ・テーマ：もういちど振り返ってみよう～啓発、医療、NPO、HIV～
- ・共催：静岡エイズシンポジウム実行委員会、静岡県エイズ中核拠点病院、中外製薬株式会社、鳥居薬品株式会社、ブリストル・マイヤーズ株式会社
- ・開催日：平成26年1月26日
- ・会場：静岡第一ホテル
- ・参加者：医療関係者、支援団体、HIV当事者、学生、一般市民
- ・参加費：無料
- ・内容：第1部 レッドリボンプロジェクト～様々な市民団体や企業との協働事業～
第2部 エイズメッセージキルト紹介(県内中学生が作製した作品展示のご紹介)
第3部 歯医者さんの感染予防

第21回
静岡エイズシンポジウム
日時：平成26年1月26日(日) 14:20～17:10
場所：静岡第一ホテル 2階【富士の間】
〒422-8066 静岡県静岡市駿河区泉町1-21
TEL. 054-281-2131

テーマ
もういちど振り返ってみよう
～啓発、医療、NPO、HIV～

プログラム

13:50～14:20 受付
14:20～14:30 開会挨拶
浜松医療センター 副院長 兼 感染症内科 科長 矢野邦夫

14:30～15:30 講演1
座長：静岡県立こども病院 輸血管理室長 堀越 泰雄
「レッドリボンプロジェクト
～様々な市民団体や企業との協働事例～」
特定非営利活動法人 魅惑的倶楽部 (仮認定) 理事長 鈴木 恵子

15:30～15:50 エイズ メッセージキルト紹介
(県内中学生が作製した作品展示のご紹介)

15:50～16:00 休憩

16:00～17:00 講演2 座長：沼津市立病院 呼吸器内科 部長 吉田 康秀
「歯医者さんの感染予防」
浜松医療センター 歯科口腔外科 医長 鹿島 桂子

17:00～17:10 閉会挨拶
市立島田市民病院 血液内科 主任部長 石橋孝文

【共催】静岡エイズシンポジウム実行委員会 静岡県エイズ中核拠点病院
中外製薬株式会社 鳥居薬品株式会社
ブリストル・マイヤーズ株式会社

A) レッドリボンプロジェクト～様々な市民団体や企業との協働事業～

レッドリボンプロジェクトは自分たちが協力をして行っている活動もあり、特に今年は HIV に関わる活動はほとんど一緒に活動を行いました。その内容をシンポジウムの中で紹介をしていただけたのでよかったですと思います。やはり、単独ではなかなか出来ない事も、他団体と連携をとることでより多角的な方法をとることが出来ると感じました。また、これからの支援とはどうあるべきなのかも知る良い機会となりました。

B) エイズメッセージキルト紹介(県内中学生が作製した作品展示のご紹介)

エイズメッセージキルトについてですが、この内容は思春期の中高生が作るということでこれからを担う若い人たちに HIV とは何か？AIDS とは何か？陽性者も障害者も大人も子どもも男性も女性も、ゲイやバイ、レズビアン、ヘテロであってもみんな同じ1人の人はなんだという事を知るきっかけづくりになったのではないかと思います。このように問題に触れるという行為は偏見や差別を取り除いていくにはとても重要だと思えますが、今の日本の現状は「臭いものには蓋」という風習がまだ残っているように思います。これは、なかなか問題が表面化しないというものもありますが、自分がやらなくても誰かがやってくれるだろうという考えや気持ちがあるからだと思います。もちろん中には自分のことを曝け出して啓発や支援を行っている人もいますが、それは常に誹謗中傷の的にもなってきました。どんなことも自分にも関係がある問題なんだと思えばそのような事はおこらないはずです。日本国内における HIV 新規感染者数の増加、AIDS を発症してはじめて HIV を知る数、この二つを減ら

していくには、もっと根本的な問題から直視をしなければいけないと思いました。

C) 歯科医による感染の予防について

歯医者さんの感染予防についてですが、本来病院はリスクの有無に関わらず感染予防に努めなければいけないのではないかと思います。ある相談者から「HBV や HCV の患者は診るのに、HIV の患者は診てくれない。感染力は HBV や HCV の方が強いはずなのに何ですか？」って聞かれたことを思い出して、このコーナーの質問時間に聞いてみました。やはり、予想通り差別や偏見もあるという事と後は風評被害を気にしているそうです。だけどこれはある意味で問題だと思います。シンポジストの先生も言っていましたが、本当に情報が漏れて風評被害が出たのなら、その情報はどこから漏れたんでしょうか？本人が言いふらすことはまずあり得ません。だとしたら、医療側から漏れる以外に可能性はないと思います。それはとても大きな問題だと思います。本来医療者や医療に関わる人には守秘義務が課せられており、医療行為やそれに携わって得た情報は口外してはいけないことになっているはずで、つまり風評被害を気にする病院は個人情報保護が出来ていない病院ってことになります。そうなってくると HIV 患者以前に病院の運営体制自体の問題があると思います。また病院は本来診療拒否を行ってはいけないことになっているはずで、どうしても対処ができない病気の場合は診断書をだして、可能な病院を紹介することになっているとも教えてくださいました。なぜ HIV 患者に対するこのような差別がいまだに残っているのでしょうか？その事がとても気になりました。

D) まとめ

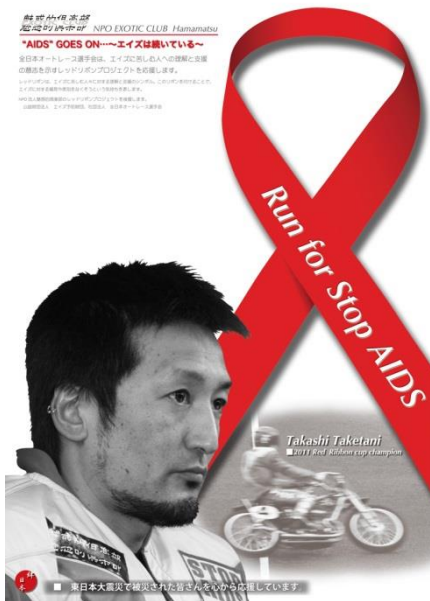
今回のシンポジウムでは色々な問題を見つけるよいきっかけになりました。1 人の人間がどんなに騒いでもなかなか社会を振り向かせることは困難だと思います。でも志を共にする人や団体と連携をとることで大きな力に変えることが可能となります。協働は自分ができることをできる範囲でお互いを助け合うことだと聞きました。まさに今の HIV 事業において必要な事だと感じました。当事者の中にはこの状況を変えたいという人もたくさんいると思います。そういう気持ちを集めて、少しずつ活動を続けていきたいと思いました。

Ⅶ 特定非営利活動法人魅惑的倶楽部の予防と啓発について

特定非営利活動法人魅惑的倶楽部
理事長 鈴木恵子

近年、中高年齢の男性の感染数が増加している傾向を踏まえ、10年前より、特定非営利活動法人魅惑的倶楽部を中心に、公営競技場初の啓発活動として、浜松オートレース場でのキャンペーンを開催し、着実な啓発の効果を実感しているが、静岡県全体では、まだまだ継続の必要性を感じています。また、中高生など若者への啓発やセクシャルマイノリティへの啓発も保健所や学校ではなかなか入り込めない部分を持っています。また、HIV、エイズについての正しい知識理解がなされていないため、HIV陽性者に対しても、社会的な保証や障害者手帳の発行がされにくくなったり、雇用できる人材が雇用されないという差別行為がされているのが現状である。

しかしながら、静岡県においては、やっとNPO、NGOとの連携の必要性を感じ、エイズ予防対策推進委員にはじめて、特定非営利活動法人の代表を含めるようになった。それにより、県の今後の方針や、対策についての最新の情報を得るとともに、医療関係者、行政とも強く連携をとって、いくことが可能になりました。そこで、行政区域を越え、かつコンドームの街頭配布など行政や教育機関では困難な活動を補い、HIV/エイズの予防を推進することにより、今まで、なかなか手をさしのべることができなかったセクシャルマイノリティやHIV陽性者に対して的確な支援ができる可能性が出てきました。



浜松オートレース場との協働事業

VIII 参考資料

A) コミュニティスペース（日本語版）

こんな時どうするの？

- 感染しているかも？という不安がある
ご相談ください。HIV/エイズの正しい情報や感染の早期発見、感染予防についての情報を提供しています。
- 陰性だったからこれからも大丈夫？
いつ感染するかはわかりません。無防備なセックスは避ける・注射針等の共用をしないなど、感染を防ぐ為の情報を提供しています。
- 結果が陽性でした。どこで治療できますか？
エイズ治療ができる病院の情報を提供しています。医療体制、利便性などを考えながら、自分にあった医療・サポート機関の情報を提供しています。

一人で悩まないで

- ・辛いときや悩みを抱えたとき、こころの病気かもしれないと思うときなど、どうしてよいかわからなくなってしまう事も多いでしょう。
- ・こんなとき、誰かに話を聞いてもらうだけで気持ちが楽になったりします。相談しても解決しないと思ったり、相談するのは恥ずかしいと感じたりするかもしれませんが、でも、勇気をもって相談することで、第一歩を踏み出すことができますよ。
- ・でもやっぱりオープンにしたいくないな時は**コミュニティスペース**にきてみてください。
- ・色んな悩みを持った人たちが気軽に來て色んな人たちの話を聞いて、自分の気持ちを話せるところだけ話してそれだけでもだいぶ気持ちは楽になります。
- ・色んな形で自分をさらけ出す場所を見つけましょう。

本事業は一般社団法人ブリッジハートセンター東海主催、NPO 法人魅惑的倶楽部が共催で運営しています。



一般社団法人ブリッジハートセンター東海



NPO 法人魅惑的倶楽部

独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業

はままつ
コミュニティスペース
in まちなか保健室

住 所：浜松市中区掛籠町 217-30-4
まちなか保健室 1 階
電 話：080-9490-6345
E-mail：sos@bhctokai.jp
開放日：第 1・第 3 の木曜日・毎週金・土曜日
時 間：17 時～21 時
駐車場：なし（有料駐車場使用下さい。）

気軽にお立ち寄り下さい。

独立行政法人福祉医療機構社会福祉振興助成事業

はままつ
コミュニティスペース
in まちなか保健室

概要

- ・「コミュニティスペース」をまちなか保健室 1 階に OPEN します。セクシャリティの悩み、体の悩み、心の悩み、性の悩み、病気のこと等なんでも大丈夫です。
- ・「コミュニティスペース」で、相談に応じるのは、当事者やお医者さん、保健師さんです。
- ・「コミュニティスペース」は色んな悩みを持った方たちが何気ない話をしながら雑談をする場なので自分の事をオープンにするかしないかは自分次第！個人情報や漏れる心配はありません。相談業務は完全予約制なので相談を誰かに見られる心配もありません。
- ・私たちは、その場ですべての相談を解決するつもりはありません。話を聞くだけでほっとする人もいます。専門的なことは、お医者様やソーシャルワーカーなどの機関と連携を取って解決に結びつけていきます。



コミュニティスペース

- 開放日：第 1・第 3 の木曜日・毎週金・土曜日
- 時 間：17 時～21 時まで時間内であればいつでも出入り自由

個別相談

■相談方法
電話やメールで連絡をもらい、日時を決定。但し、予約状況で希望に添えない場合もあります。

電話相談

■相談方法
番号「080-9490-6365」、月～金 17 時～21 時受付。但し、状況や時間によってはつながらないことがあります。

メール相談

■相談方法
メール「sos@bhctokai.jp」24 時間受付。但し、状況や時間によって返信が遅れるが必ず返信をします。

■相談内容（共通）

- ・セクシャリティの悩み・心の悩み・体の悩み・性の悩み・病気の悩みなど相談内容に応じて関係機関と連携しながら対応いたします。
- ・必ず一人、当法人の担当者がいますので個別に何かを聞きたいときは対応を致します。

■予約は必ず WEB(www.bhctokai.jp)、メール(sos@bhctokai.jp)、電話(080-9490-6365)でして下さい。



B) コミュニティスペース (ポルトガル語版)

Como agir nessas horas?

- **Será que estou contagiado? Se tem esta dúvida**
Nos consulte. Temos informações corretas sobre exames, como se faz a descoberta precoce, prevenção do HIV/AIDS.
- **Deu negativo estou seguro para sempre?**
Não podemos prever quando seremos contagiados, mas podemos fornecer informações corretas sobre a prevenção e contágio do HIV/AIDS.
- **Deu positivo. Onde posso receber tratamento?**
Oferecemos informações sobre hospitais que fazem tratamentos de AIDS. Damos suporte com informações sobre o sistema médico e suas conveniências; procurando o hospital e o sistema de suporte de acordo com suas necessidades.

Não se preocupe sozinho

Quando estiver com dificuldades ou com preocupações, quando achar que está com **problemas psicológicos**, as preocupações surgem e nos deixam confuso e sem saber o que fazer, não é mesmo.

Nessas horas, talvez suas dificuldades podem ser amenizadas apenas **conversando com alguém**. Pode ser que você ache que seus problemas não serão resolvidos apenas conversando, ou talvez você se sinta envergonhado se consultando. Mas, criar coragem para fazer uma consulta, é um ato muito importante é o 1º passo.

Mesmo decidindo não quebrar seu sigilo sobre seu caso, venha apenas conhecer o Espaço Comunitário.

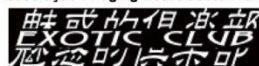
Talvez conhecendo pessoas que também têm vários tipos de dúvidas, você poderá **falar sobre si mesmo, na medida do possível** e conversando talvez se sentirá um pouco mais aliviado de suas preocupações.

Vamos procurar um local que você possa se abrir e se mostrar verdadeiramente.

Projeto organizado pela Associação Bridging Heart Center Tokai, conta com a colaboração do Exotic Club na administração deste projeto.



Associação Bridging Heart Center Tokai



NPO 法人魅惑的倶楽部

Instituição administrativa independente subsidiada para a promoção da Saúde e bem-estar social

Hamamatsu Espaço Comunitário

In Machinaka Hokenshitsu

- End : Hamamatsu-shi, Naka-ku, Kouya Machi 217-30-4 Machinaka Hokenshitsu 1F
- Tel : 090-9336-6641
- E-mail : sos@bhctokai.jp
- Atendimento : 1ª e 3ª quintas, todas as sextas e sábados
- Horário : 17:00~21:00
- Estacionamento : não temos (utilizar estacionamentos próximos por conta própria)

Nos procure sem compromisso.

Instituição administrativa independente Subsidiada para a promoção da Saúde e Bem-estar Social

Hamamatsu Espaço Comunitário

In Machinaka Hokenshitsu

Visão Global

Será inaugurado no 1º andar do Machinaka Hokenshitsu 「Espaço Comunitário」. Estaremos à disposição para consultas sobre suas dúvidas sobre sexualidade, sobre o corpo, problemas sentimentais, sexo, doenças e outras. Venha conversar conosco.

No 「Espaço Comunitário」 contaremos com o auxílio de **médicos e enfermeiros(as)**, para poder responder as suas dúvidas.

Este 「Espaço Comunitário」 será um local onde todos poderão conversar sobre suas dúvidas ou até mesmo assuntos casuais. Você é quem decide se falará ou não sobre suas dúvidas! Não se preocupe suas informações pessoais estarão seguras, manteremos sigilo absoluto. O atendimento será com **horário reservado somente para você**, por isso não há a preocupação de que outras pessoas estejam no local.

Não temos a intenção de dizer que poderemos resolver todos seus problemas de imediato. Mas, muitas pessoas sentem-se aliviadas **somente conversando**, não é mesmo? Os assuntos específicos serão tratados por especialistas como **médicos e assistentes sociais**, que farão contato com instituições especializadas, que poderão auxiliar na resolução de seus problemas.



Espaço Comunitário

- Atendimento : 1ª e 3ª quinta-feira, todas as sextas e sábados
- Horário : Das 17:00 as 21:00 h. poderá nos visitar sem compromisso durante esse horário

Consulta Particular

- **Como marcar consultas**
Entrar em contato por e-mail ou por telefone, marcando a data e horário que deseja. Conforme a situação das reservas, talvez não possamos atender na data e/ou horário desejados.

Consulta por telefone

- **Como nos consultar**
De segunda a quinta das 17:00 as 21:00 h. pelo telefone 「090-9336-6641」. Porém, conforme as circunstâncias no local, talvez não seja possível atendermos ao telefone.

Consulta por e-mail

- **Como nos consultar**
Pelo e-mail sos@bhctokai.jp poderá ser enviado 24 horas por dia. Porém, conforme as circunstâncias, a resposta poderá demorar um pouco, mas responderemos sem falta.

Tipos de consultas (Igual para todos)

- Dúvidas sobre sexualidade, problemas sentimentais, dúvidas sobre o corpo, sobre sexo, doenças entre outras. Após a consulta, entraremos em contato com especialistas de acordo com suas dúvidas e problemas.
- Sempre um encarregado desta instituição estará presente. Caso desejar perguntar ou conversar em particular com o encarregado nos procure que o atenderemos com prazer.

- Faça sua reserva sem falta pela página (www.bhctokai.jp) , e-mail (sos@bhctokai.jp) ou pelo telefone (090-9336-6641).



C) コミュニティスペース (英語版)

What should I do ?

- I'm afraid that I may be infected.
Please contact us. We will give you the information about HIV/AIDS, the method of early detection, and the way of prevention.
- I'm HIV negative now so I'll be always fine.
Actually, we have the possibility to be infected at any time. We will give you some advice to avoid new infection.
- My test result was positive. Where can I find the treatment?
We offer the information about hospitals, too. We consider all the aspects, such as the medical system and your convenience, and find the best solution together.

Do not think alone.

- If you have a **disease of the mind**, you may not know what to do.
- Sometimes, you can feel better when **you talk with someone**. You may think it doesn't help or you hesitate to do so, but once you start to talk, your situation will change gradually.
- If you want to talk privately, come over to the "Community Space."
- People come with worries of every kind. You can tell others just **what you want to talk**. It could help you feeling and thinking better.
- You might find a comfortable place where you can be yourself.

Summary

- We have a "Community Space" at the 1st floor of the 'Machinaka Hoken-shitsu' (which means "the nurse's office in the downtown area" in Japanese). You can talk any kind of worries, such as about gender, sexuality, body, mind and disease.
- Normally, our counselors are the **people concerned, doctors, and hygienists**.
- "Community Space" is where various people come and talk freely about their worries. Your privacy is protected. You can talk everything if you want to, but it's not a duty. It totally depends on you. If you want to talk with us very privately, please **make an appointment**.
- We don't aim to solve all the problems right away, but we're sure that some people will feel much better by **talking and getting some advices**. If it's necessary, we will also contact professionals such as **doctors and social workers** to find a solution.



This project is organized by the general incorporated association; Bridging Heart Center Tokai collaborated with the nonprofit organization; Exotic club.



General incorporated association:
Bridging Heart Center Tokai
非営利の自衛隊
EXOTIC CLUB
旭の心を守る会
Nonprofit organization: Exotic Club

Social welfare promotion services by Incorporated Administrative Agency:
Administrative Agency: Welfare And Medical Service Agency

Hamamatsu Community Space
At Machinaka Hoken-shitsu

Address : Machinaka Hoken-shitsu, 1st floor,
217-30-4 Koya-machi, Naka-ku, Hamamatsu
Phone number : 080-9490-6345
E-mail : sos@bhctokai.jp
Open days & hours : From 5 to 9 p.m. of 1st
& 3rd Thursday and every Friday &
Saturday

Please feel free to stop by!

Social welfare promotion services by Incorporated Administrative Agency:
WELFARE AND MEDICAL SERVICE AGENCY

**Hamamatsu
Community Space**
At Machinaka Hoken-shitsu

Community Space

- Open days : 1st & 3rd Thursday and every Friday & Saturday
- Hours : From 5 to 9 p.m. (Please come and go freely)

Private Consultation

Telephone Counseling

E-mail consultation

■ Consultation method
Please call or email us and we will fix the date for you, but please also consider that sometimes we can't meet your first request.

■ Consultation method
Please make a call at 080-9490-6365 from Monday through Friday, between 5 and 9 p.m. We are sorry if we cannot answer.

■ Consultation method
Please email us at sos@bhctokai.jp anytime. We may be late but we will certainly write you back.

■ Consultation and support

- If it's necessary, we will contact the other services in order to find a solution for your worries and problems of sexuality, gender, mind, body, and disease.
- If our staff is available, you can talk privately with us by drop-in.

■ To make an appointment;
please visit our website (www.bhctokai.jp),
email (sos@bhctokai.jp), or make a phone call at 080-9490-6365.



D) コミュニティスペース (スペイン語版)

Como se slente ahora?

- **Será que estou contagiado? Se tiene la duda**
Consultenos. Tenemos informaciones correctas sobre los exámenes, como se realizan, cual es el proceso para la prevención del HIV/AIDS.
- **Dio negativo estoy seguro para siempre?**
No podemos prever cuanto seremos contagiados, pero podemos recibir las informaciones correctas sobre la prevención y el contagio del HIV/AIDS.
- **Dio positivo. Donde puedo recibir tratamiento?**
Ofrecemos información sobre hospitales que realizan tratamientos del AIDS. Damos soporte con información sobre el sistema médico e sus conveniencias; buscando el hospital y el sistema de soporte de acuerdo con sus necesidades.

No se preocupe solo

Cuando este con dificultades o preocupaciones, cuando crea que está con **problemas psicológicos**, las preocupaciones surgen y nos dejan confuso y sin saber que hacer, no es lo mismo. En esas horas, talvez sus dificultades pueden ser solucionadas apenas **conversando con alguien**. Puede ser que usted crea que sus problemas no serán resueltos, apenas olvidados, apenas conversando, o talvez usted se sienta avergonzado de consultar. Tenga confianza en realizar una consulta, este es muy importante para el primer paso. Mismo decidiendo no quebrar su preocupación sobre su caso, venga apenas a conocer el **Espacio Comunitário**. Talvez conociendo personas que también tienen varios tipos de dudas, usted podrá **hablar sobre si mismo, en la medida posible** y conversando talvez se sentirá un poco mas aliviado de sus preocupaciones. Vamos a buscar un local que usted se pueda abrir y se mostrar verdaderamente.

Proyecto organizado por la Asociación Bridging Heart Center Tokai, conjuntamente con NPO Exotic Club



Asociación Bridging Heart Center Tokai



NPO Exotic Club

Institución Administrativa Independiente subsidiada para la Promoción de la Salud y Bienestar Social

Hamamatsu Espacio Comunitário

In Machinaka Hokenshitsu

- Lugar : Hamamatsu-shi, Naka-ku, Kouya Machi 217-30-4 Machinaka Hokenshitsu 1F
- Tel : 090-9336-6641
- E-mail : sos@bhctokai.jp
- Atención : Primer y tercer jueves y todos los viernes y sabados
- Horario : 17:00~21:00
- Estacionamiento : No tenemos (utilizar estacionamientos próximos por cuenta propia)

Busquenos sin compromiso.

Institución Administrativa Independiente subsidiada para la Promoción de la Salud y Bienestar Social

Hamamatsu Espacio Comunitário

In Machinaka Hokenshitsu

Visión Global

Será inaugurado en el primer piso de Machinaka Hokenshitsu [Espacio Comunitário]. Estaremos a disposición para consultas sobre sus dudas sobre la sexualidad, sobre el cuerpo, problemas sentimentales, sexo, dolencias y otros. Venga a conversar con nosotros. En el [Espacio Comunitário] contaremos co el auxilio de **médicos y enfermeros(as)**, para poder responder sus dudas. Este [Espacio Comunitário] será un local donde todos podrán conversar sobre sus dudas y así sus asuntos casuales. Usted en quien decide si habla o no sobre sus dudas! No se preocupe sus informaciones personales estarán seguras, mantendremos absoluto su privacidad segura. El **atendimiento será con horario reservado solamente para usted**, por eso no hay la preocupación de que otras personas esten en el mismo lugar. No tenemos la intención de decir que podemos resolver todos sus problemas de inmediato. Pero muchas personas se sienten aliviadas **solamente conversando**, no eso mismo? Los asuntos específicos serán tratados por especialistas como **médicos y asistentes sociales** que están en contacto con instituciones especializadas, que podrán auxiliar en la solución de sus problemas.



Espacio Comunitário

- **Atendimiento** : Primer y tercer Jueves y todos los viernes y sabados
- **Horario** : Desde las 17:00 as 21:00 h. Pueden visitamos sin compromiso durante ese horario

Consulta Privada

■ **Como marcar consultas**
Entrar en contacto por e-mail o por teléfono, marcando una cita en el horario que desee. Conforme a la situación de las reservas, talvez no podremos atender en la fecha o horario deseados.

Consulta por teléfono

■ **Como nos consultar**
De lunes a viernes de 17:00 a 21:00 h. Por teléfono 「090-9336-6641」. Pueden, confirmar las circunstancias del local, talvez algunas veces no será posible atenderlos por teléfono.

Consulta por e-mail

■ **Como nos consultar**
Por e-mail sos@bhctokai.jp puede enviarlo 24 horas por dia. Dependiendo a la circunstancias, la respuesta podra demorar un poco pero siempre habrá una respuesta sin falta.

Tipos de consultas (Igual para todos)

- Dudas sobre la sexualidad, problemas sentimentales, dudas sobre el cuerpo, sobre sexo, dolencias entre otras. Dependiendo de la consulta entraremos en contacto con especialistas de acuerdo con sus dudas y problemas.
- Siempre un encargado de la asociación estará presente. Caso desee preguntar o conversar en privado con el responsable nos busca que lo atenderemos con mucho gusto.

- Realice su reserva sen falta por la página (www.bhctokai.jp), e-mail (sos@bhctokai.jp) o por el teléfono (090-9336-6641).



E) コミュニティスペースグラウンドルール

(1) 日本語版

コミュニティスペースグラウンドルール

- コミュニティスペース参加者には色々な方がいます。スペース内で見聞きした他の参加者に関する情報は、お取り扱いにご配慮をお願い致します。氏名やニックネームはもちろんのこと、セクシャリティや職業、居住地、外見などの断片情報も組み合わせることで個人が特定できる場合があります。
- 参加者には、さまざまな価値観の方がいらっしゃいます。その考えを一方的に非難したり、自分の考えを押し付けたりせず、それぞれの立場を尊重してください。
- 参加者のみなさまが安心して参加できるように、プライバシーの保護について配慮をいたしますが、保障することはできません。コミュニティスペースでの自分の情報開示については、ご自身の判断をお願い致します。
- 参加中何かありましたらすぐに当法人担当にご連絡をお願い致します。

一般社団法人ブリッジハートセンター東海
相談員：野口功
通訳員：山城ロベルト

(2) ポルトガル語版

Regras Básicas do Espaço Comunitário

- Várias pessoas utilizam este espaço comunitário. Pedimos que mantenham discrição e sigilo quanto ao que viu ou ouviu. Pedimos que não utilizem as informações obtidas aqui, tais como nomes, apelidos, sexualidade, profissão, local da residência, aparência física, etc, pois a combinação desses dados podem identificar outros usuários.
- Os participantes têm seus pensamentos e opiniões. Vamos respeitar as opiniões e pensamentos alheios, sem impor sua opinião própria.
- Faremos o possível para manter sigilo para que todos possam participar a vontade, mas não podemos assegurar total sigilo. Cada um deverá se responsabilizar pelos dados pessoais que irá divulgar neste Espaço Comunitário.
- Caso haja alguma conduta inconveniente, avise o responsável o mais breve possível.

Bridging Heart Center Tokai
Responsável das consultas Isao Noguchi
Tradutor Roberto Yamashiro

(3) スペイン語版

Reglas Básicas del Espacio Comunitario

- Várias persona utilizan este espacio comunitario. Pedimos que mantengan discreción de lo que ven y oiga. Pedimos que no utilizen las informaciones obtenidas aqui, tales como nombres, apellidos, sexualidad, profesión, local de residencia, apariencia física, etc, porque estos datos pueden ser identificados con otros usuarios.
- Los participantes tienen sus pensamientos y opiniones. Vamos a respetar las opiniones y pensamientos de los demás, sin imponer su propia opinión.
- En lo posible mantendremos sigilo para que todos las personas puedan participar de buena forma, más no podemos asegurar total sigilo. Cada uno deberá ser responsables por los datos personales que irán a divulgar en el Espacio Comunitario.
- En caso hubiese alguna conducta inconveniente, avisar al responsable lo más breve posible.

Bridging Heart Center Tokai
Responsable de las consultas Isao Noguchi
Traductor Roberto Yamashiro

F) 当事者の話を聞くにあたっての注意事項

(1) 日本語版

当事者の話を聞くにあたっての注意事項

- 当事者より聞いた話の内容を一部でも外部に話す事はおやめください。
- 話の内容は話さずとも氏名やニックネームはもちろんのこと、セクシャリティや職業、居住地、外見などの断片情報も組み合わせることで個人が特定できる場合がありますので十分ご注意ください。
- 話す内容は当事者に一任しています。話のあとの質問はしていただいてもかまいませんが、返答するかしないかは当事者が決めることですので、返答に拒否があった場合は追及しないようにしてください。
- 情報発信をしていく中で上記の内容はとて重要になってきます。
- 上記の内容及び、今の日本を取り巻く現状を理解していただき、注意事項を遵守していただくようお願いいたします。

平成 年 月 日

氏名_____

(2) ポルトガル語版

Cuidados a serem tomados durante os depoimentos

- Não divulgar os depoimentos mesmo sendo parcialmente.
- O conteúdo das conversas, mesmo que não dê detalhes, podem ser utilizadas para identificar a pessoa que fez o depoimento, através da sexualidade, profissão, local onde reside, aparência física ou partes dos depoimentos, por isso pedimos que tomem muito cuidado.
- Cada um se responsabilizará pelo seu depoimento. Após o depoimento, poderão fazer perguntas, mas não garantimos que sejam respondidas, pois o próprio decidirá se responderá ou não às perguntas. Caso não seja respondida, favor não insistir.
- Estes dados serão muito importantes para expandirmos as informações corretas.
- Pedimos que compreendam as regras acima e a situação social atual do Japão e que mantenham sigilo sobre os dados pessoais alheios.

_____ Dia _____ Mês _____ Ano

Nome _____

(3) スペイン語版

Cuidados que serán tomados durante las conversaciones

- No divulgar las conversaciones así sea solo una parte.
- El contenido de las conversaciones, mismo que no de detalles, pueden ser utilizadas para identificar a personas que hacen parte de las conversaciones, a través del genero, profesión, lugar donde reside, apariencia física, por eso pedimos que tomen mucho cuidado.
- Cada uno se responsabiliza por sus conversaciones. Después de las conversaciones, pueden hacer preguntas, mas no garantizamos que pueden ser respondidas, uno decidirá si responderá o no su pregunta. Caso no sea respondida, porfavor no insistir.
- Estos datos son muy importantes para poder expandirse en las informaciones correctas.
- Pedimos que comprendan las reglas ya mencionadas y la sociedad actual de Japón de mantener confidencialidad sobre los datos personales.

_____ Dia _____ Mes _____ Año

Nombre _____

・報告書作成に関わったメンバー

氏名	所属
久保田君枝	国立大学法人浜松医科大学助産学専攻科 教授
鈴木恵子	特定非営利活動法人魅惑的倶楽部 理事長
山城口ベルト	一般社団法人ブリッジハートセンター東海 代表理事
栃原信二郎	一般社団法人ブリッジハートセンター東海 理事、理学博士
野口功	一般社団法人ブリッジハートセンター東海 医療福祉支援事業、看護師
山城メリー	一般社団法人ブリッジハートセンター東海 多文化共生事業

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業
免疫機能障害者への支援と理解促進事業報告書

2014年3月発行

- 発行団体：一般社団法人ブリッジハートセンター東海
- 発行者：山城ロベルト
- 編集者：野口功、栃原信二郎
- 事務局：〒430-0936 浜松市中区大工町 15 番地 大地ビル 4F
- 電話：053-523-9479
- F a x：053-523-9489
- E-mail：info@bhctokai.jp
- W e b：www.bhctokai.jp